

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第38週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-9

< インフルエンザ >
定点当たり報告数は第28週以降増加が続いており、第38週は4.95と前週の値よりも大きく増加した



病原体情報
P.10-14

インフルエンザウイルス 2009年5～9月 / ヒトから検出されている
Vero毒素産生性大腸菌 2009年



速報
P.15-16

第3期・第4期麻疹風しんの予防接種率向上に向けた取り組み
- 陸前高田市



海外感染症情報
P.17-20

パンデミック H1N1 2009 短報: no.10 - 学校での介入手段、no.11
- パンデミックインフルエンザワクチンの現状 / カメルーンでの黄熱



感染症の話
P.21

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(38週)
P.22-27



38週のデータ
P.28-40



発生動向総覧

< 第38週コメント > 9月25日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核272例

3類感染症

細菌性赤痢8例 感染地域: 長崎県1例、ベトナム2例、カンボジア1例、インド1例、トルコ1例、アルジェリア1例、インド/中国1例

腸管出血性大腸菌感染症89例(有症者53例、うちHUS なし)

感染地域: 国内89例

国内の多い感染地域: 兵庫県14例、東京都10例、福岡県9例、宮城県6例、埼玉県5例、千葉県4例、鹿児島県4例、岩手県3例、愛知県3例、三重県3例、広島県3例

年齢群: 1歳(6例)、2歳(2例)、3歳(3例)、5歳(3例)、6歳(5例)、7歳(2例)、8歳(4例)、9歳(2例)、10代(12例)、20代(19例)、30代(10例)、40代(7例)、50代(5例)、60代(7例)、70代(1例)、80代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(49例)、O157 VT2(17例)、O26 VT1(6例)、O121 VT2(2例)、O145 VT1(2例)、O157 VT1(1例)、O157 VT不明(1例)、O121 VT不明(1例)、O6 VT1(1例)、O91 VT1(1例)、O103 VT不明(1例)、O111 VT1(1例)、その他・不明(6例)

累積報告数: 2,791例(有症者1,905例、うちHUS 54例、死亡2例)

腸チフス1例

感染地域: 千葉県

4類感染症

E型肝炎1例

感染地域: 青森県__感染源: 不明

A型肝炎1例

感染地域: 佐賀県

デング熱2例

感染地域: マレーシア1例、パプアニューギニア1例

日本紅斑熱2例

感染地域: 島根県1例、広島県1例

レジオネラ症6例(肺炎型6例)

感染地域: 埼玉県1例、石川県1例(温泉)、愛知県1例、岐阜県1例(温泉)、国内(都道府県不明)1例、トルコ1例

年齢群: 50代(3例)、60代(2例)、80代(1例)

レプトスピラ症1例

感染地域: 沖縄県__感染源: 河川

5類感染症

アメーバ赤痢6例(腸管アメーバ症6例)

感染地域: 石川県1例、岐阜県1例、広島県1例、国内(都道府県不明)2例、ベトナム/タイ1例

感染経路: 経口感染1例、性的接触2例(異性間1例、異性間・同性間不明1例)、不明3例

急性脳炎6例

インフルエンザウイルスAH1pdm 2例__年齢群: 10代(2例)

インフルエンザウイルスA型1例__年齢群: 6歳

病原体不明3例__年齢群: 0歳(1例)、1歳(1例)、10代(1例)

クロイツフェルト・ヤコブ病2例

孤発性プリオン病古典型2例

後天性免疫不全症候群14例(AIDS 3例、無症候10例、その他1例)

感染地域: 国内13例、国内・国外不明1例

感染経路: 性的接触10例(異性間2例、同性間8例)、不明4例

ジアルジア症1例

感染地域: 国内(都道府県不明)

梅毒8例(早期顕症I期1例、早期顕症II期2例、晩期顕症1例、無症候4例)

破傷風4例

年齢群: 40代(1例)、50代(1例)、60代(1例)、70代(1例)

麻しん9例(麻しん(検査診断例3例、臨床診断例3例)、修飾麻しん(検査診断例)3例)

感染地域: 国内9例

国内の感染地域: 千葉県2例、神奈川県1例、福岡県1例、鹿児島県1例、国内(都道府県不明)4例

年齢群: 1歳(2例)、5~9歳(1例)、10~14歳(1例)、15~19歳(1例)、20~24歳(2例)、30~34歳(2例)

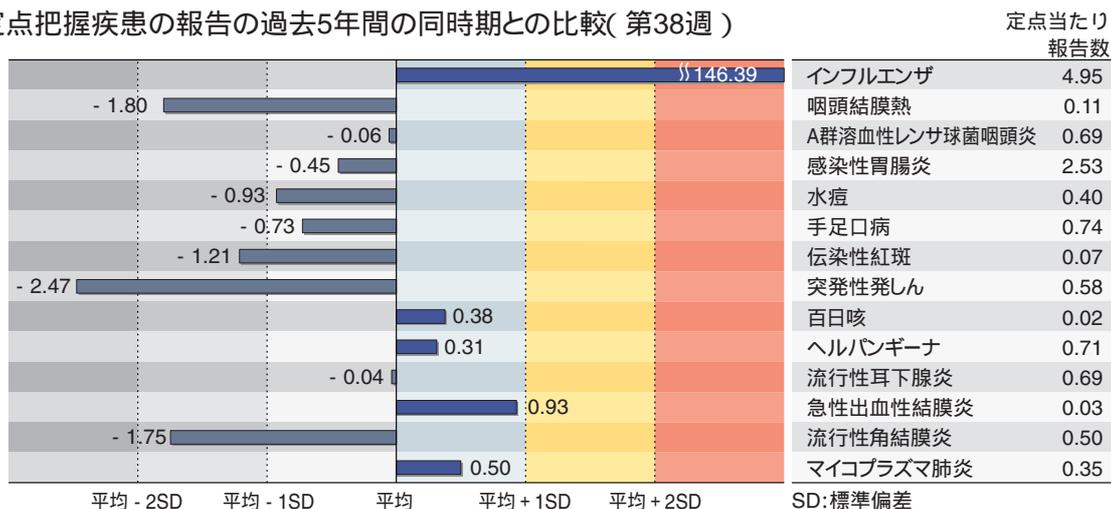
累積報告数: 635例(麻しん(検査診断例201例、臨床診断例265例)、修飾麻しん(検査診断例169例))

(補)他に2009年第37週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎2例(感染地域(感染源): 熊本県1例(イノシシの生肉)、栃木県1例(もつ))、エキノコックス症1例(多包条虫__感染地域: 北海道)、デング熱1例(感染地域: カンボジア/ベトナム/ラオス)、急性脳炎2例(ヒトヘルペスウイルス6型1例(1歳)、病原体不明1例(1歳))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(70代 . 死亡)、梅毒2例(先天梅毒2例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型: 不明__菌検出検体: 胆汁 . 死亡)、風しん1例(臨床診断例 . 感染地域: 東京都 . 年齢群: 15~19歳)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第38週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は第28週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(12.52)、東京都(10.24)、大阪府(9.21)、北海道(8.21)、千葉県(7.31)、兵庫県(7.15)、神奈川県(7.09)、宮城県(7.07)、福岡県(6.99)、埼玉県(6.83)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は483例と増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第35週以降減少が続いている。都道府県別では福岡県(0.44)、山形県(0.30)、北海道(0.26)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別では鳥取県(2.16)、北海道(1.81)、山口県(1.34)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では大分県(5.7)、宮崎県(4.9)、福井県(4.6)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福島県(1.06)、富山県(0.69)、宮崎県(0.69)、鹿児島県(0.69)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第35週以降減少が続いている。都道府県別では佐賀県(2.78)、沖縄県(2.50)、山形県(2.40)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は第35週以降減少が続いている。都道府県別では佐賀県(0.43)、青森県(0.24)、神奈川県(0.22)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では長野県(0.13)、長崎県(0.09)、福岡県(0.08)、大分県(0.08)が多い。

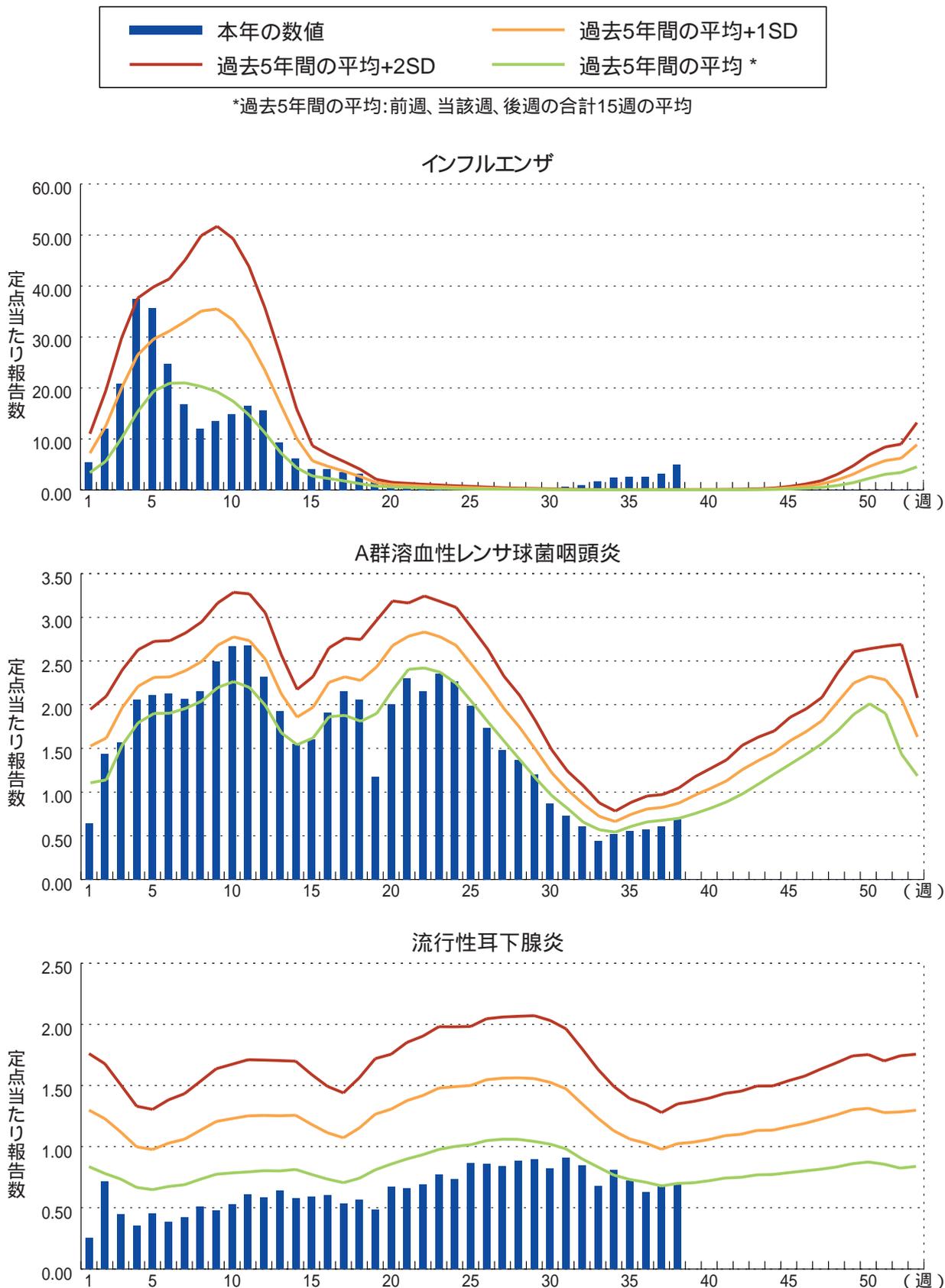
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第32週以降減少が続いている。都道府県別では福井県(3.09)、長野県(2.31)、香川県(2.04)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県(2.83)、佐賀県(2.48)、福井県(2.05)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮城県(1.50)、埼玉県(1.44)、沖縄県(1.29)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2009年第1～38週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。2009年4月にその存在が明らかとなった新型インフルエンザ A/H1N1の臨床像は、従来の季節性インフルエンザとほぼ同様であり、その感染経路も季節性インフルエンザと同様に飛沫感染が主体であり、一部には接触感染があると考えられている。従って、医療機関における感染対策としては、季節性インフルエンザと同様の標準予防策、咳エチケットを含めた飛沫予防策がその中心となる(感染症情報センターホームページ : http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/2009idsc/infection_control_0901.html 参照)。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所(小児科定点約3,000、内科定点約2,000)のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。本サーベイランスは原則的に臨床診断によるものであり、最近の国内のインフルエンザウイルス検出状況を考慮すれば、現在報告されているインフルエンザ患者発生の殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される。

インフルエンザの定点当たり報告数は2009年第28週以降増加が続いており、第38週は4.95(報告数23,275)と前週の値(定点当たり報告数3.21)よりも大きく増加した(図1)。定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数を推計すると約27万人となった。都道府県別では沖縄県(12.52)、東京都(10.24)、大阪府(9.21)、北海道(8.21)、千葉県(7.31)、兵庫県(7.15)、神奈川県(7.09)、宮城県(7.07)、福岡県(6.99)、埼玉県(6.83)、長崎県(5.99)、愛知県(5.81)の順となっている。39都道府県で定点当たり報告数が1.00を超えており(図2)、また18都道府県の67保健所地域で定点当たり報告数が10.00を超えている。

沖縄県の報告数は減少が続いているが、北海道、宮城県、首都圏、愛知県、大阪府、兵庫県、福岡県等の大都市圏を中心に報告数が大きく増加している(図3)。

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1999 ~ 2009年第38週)

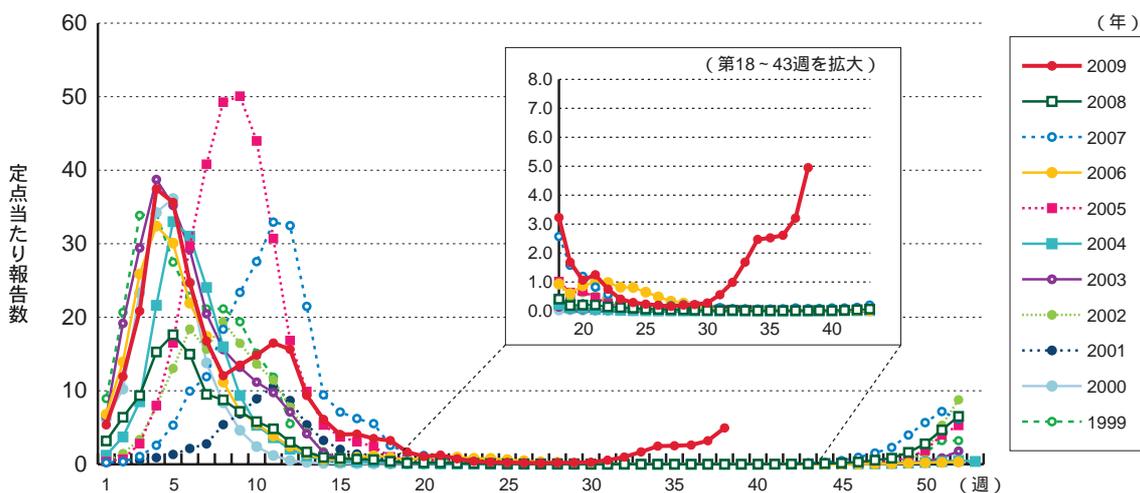


図2. インフルエンザの都道府県別定点当たり報告数(2009年第38週)

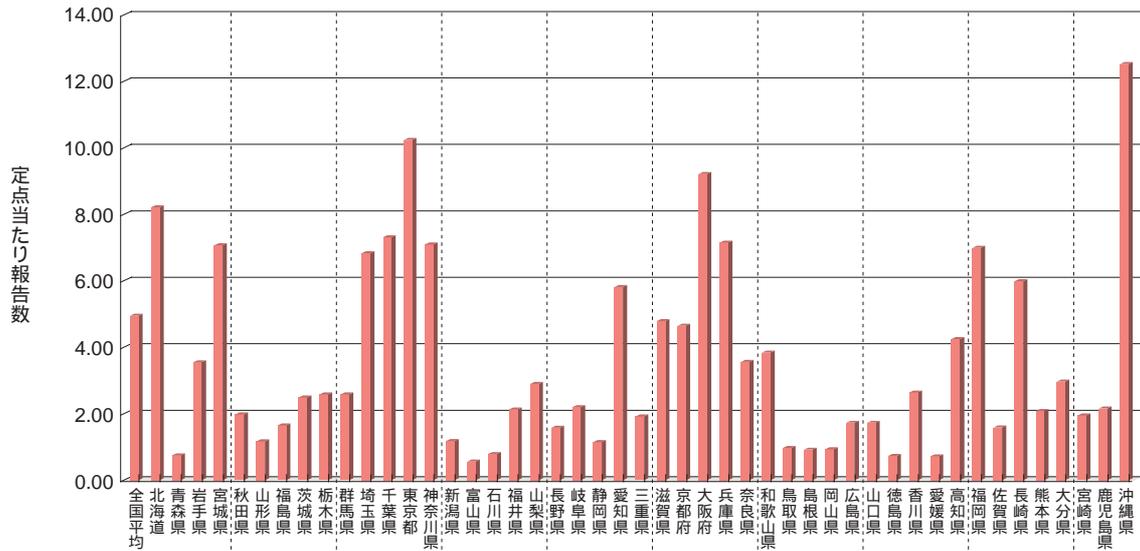
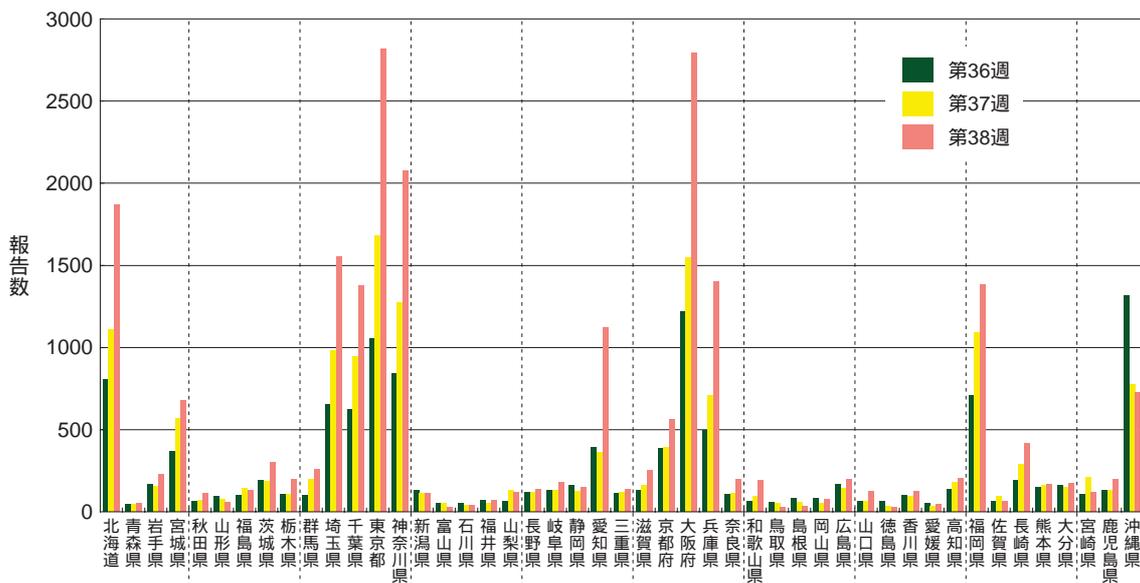


図3. インフルエンザの都道府県別報告数の推移(2009年第36 ~ 38週)



患者報告数が継続的に増加し始めた第28週以降第38週までの定点当たり累積報告数は20.03 (累積報告数93,590)であり、年齢群別では10～14歳26,217例(28.0%)、5～9歳22,135例(23.7%)、15～19歳14,988例(16.0%)、0～4歳10,444例(11.2%)、20～29歳8,873例(9.5%)の順となっている(図4)。特に第34週以降の週毎の推移をみると、10～14歳の割合が急増しており、第38週は約40%に達している(図5)。

図4. インフルエンザ累積報告数の年齢群別割合(2009年第28～38週)

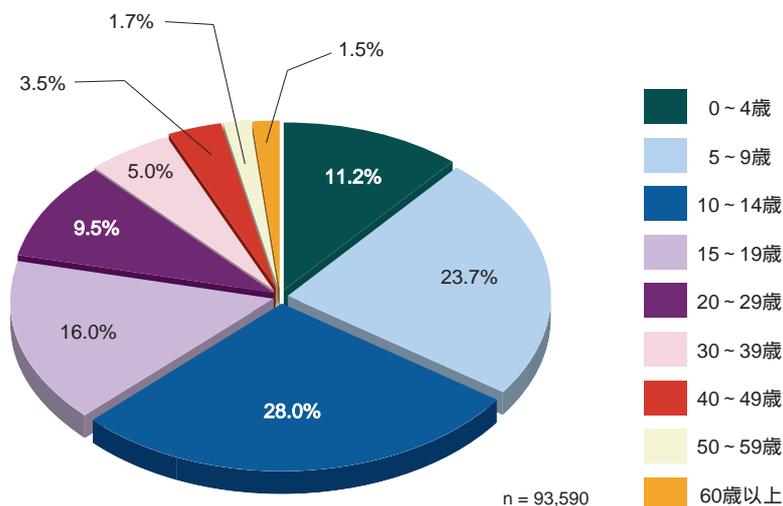
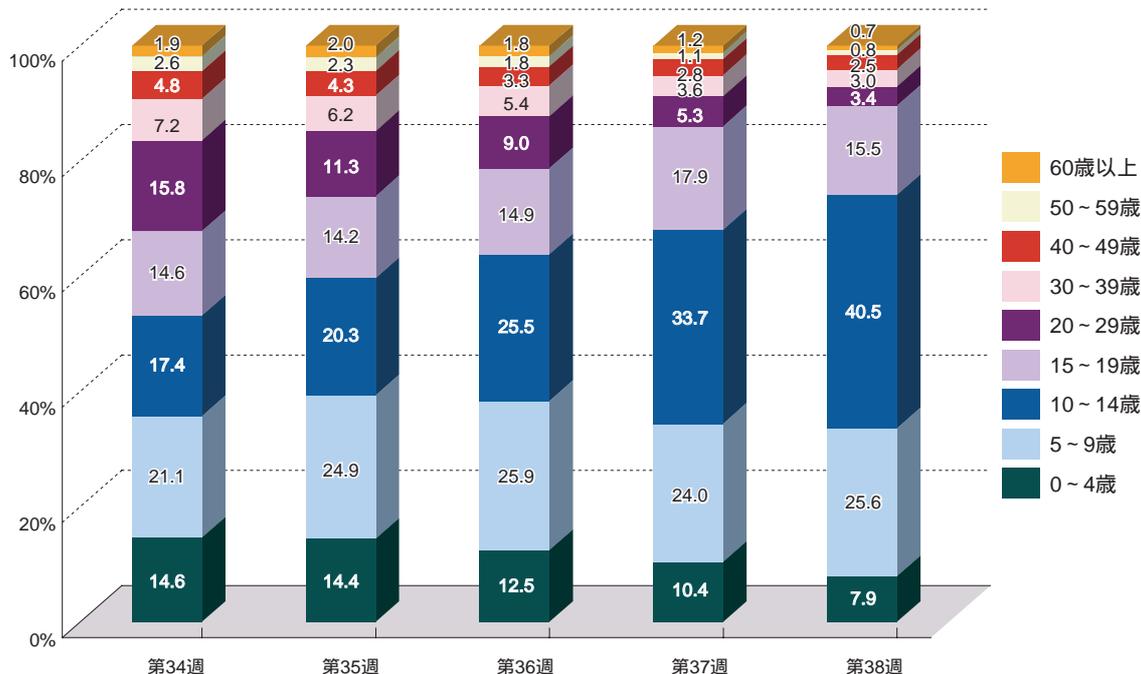
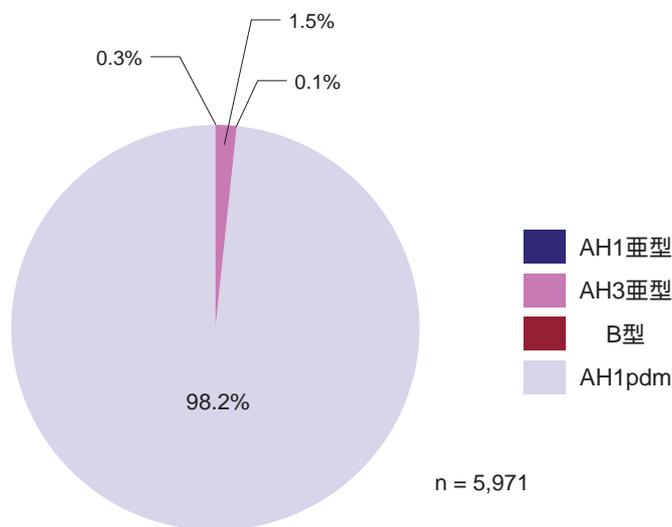


図5. インフルエンザ報告数の年齢群別割合の推移(2009年第34～38週)



日本で新型インフルエンザウイルスAH1pdmが検出された2009年第19週以降第38週までに8,155件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、そのうちAH1pdmは7,172件(87.9%)を占めている。また、特に患者報告数が増加し始めた第28週以降では、第38週までに5,971件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1亜型(Aソ連型)16件(0.3%)、AH3亜型(A香港型)89件(1.5%)、B型4件(0.1%)、AH1pdm(新型インフルエンザウイルス)5,862件(98.2%)とインフルエンザウイルスの検出報告数の大半をAH1pdmが占めており、現在国内で発生しているインフルエンザの殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される(図6および感染症情報センターホームページ: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph/sinin1.gif> 参照)。

図6. インフルエンザウイルス検出割合報告(2009年第28 ~ 38週)
(病原微生物検出情報: 2009年9月26日現在報告数)



第38週は報告数が第28週以降では最も大きく増加したが、患者発生の中心は10代前半を中心とした5 ~ 19歳の年齢層であり、夏季休暇の終了によって、学校、幼稚園、保育施設等の若年齢層の集団生活施設が流行の中心となっていることを表しているものと考えられる。また、特に10代前半の年齢群で報告数の急増が続いていることや、大都市圏を中心に流行が拡大しつつあるということは、現在は日本国内におけるインフルエンザの流行は初期の段階であり、今後更に大きな流行に発展して行く可能性が十分にあるものと予想される。

これまでのインフルエンザ・パンデミックの例をみても、新型インフルエンザの流行は、国民の多くが感染し免疫を保有するに至るまでは繰り返されるものと考えられる。また、現時点においては、いまだ殆どの国民が感受性者であることから、たとえ秋季の流行であっても、その規模は従来の冬季における季節性インフルエンザの流行よりも大きくなる可能性があることを考慮しておくべきである。従って、本格的な流行となった場合に、現在の医療体制を維持し、国民に対して医療サービスを提供し続けることが大きな課題であり、また、流行規模の増大に伴って、心疾患、呼吸器疾患、腎疾患、糖尿病等の慢性疾患患者、妊婦、乳幼児、高齢者等のいわゆるインフルエンザの罹患による重症化が予想される者に対する注意と対策に関する準備も急務であると思われる。新型インフルエンザを含めたインフルエンザの発生動向には今後とも警戒が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2009年9月29日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2009年5～9月

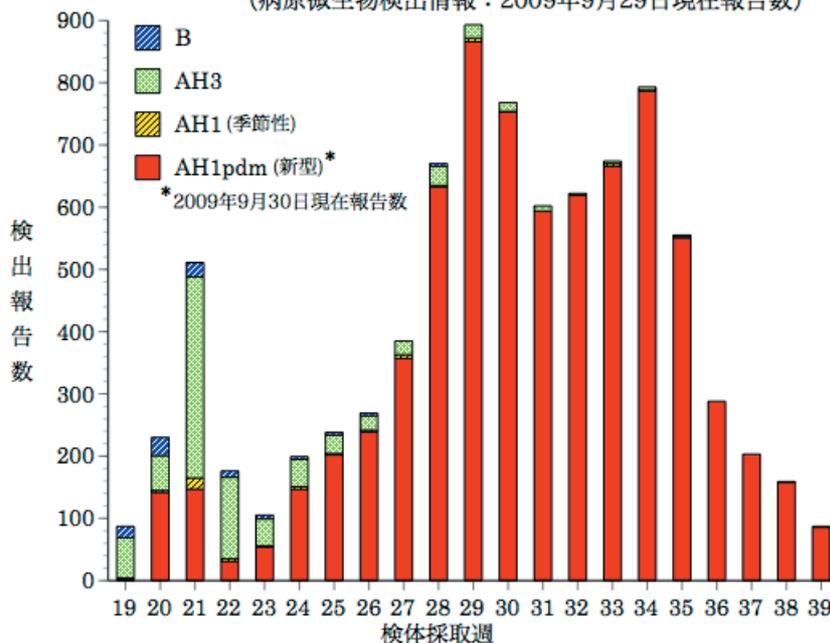
国立感染症研究所・感染症情報センターには地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」が報告されている。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれる。

新型インフルエンザの発生に対応して、2009年5月以降、地研で鑑別診断のための検査が行われている。第19週に最初の新型インフルエンザウイルスAH1pdm検出例が報告され、第20週以降検出数が増加している。

AH1pdmは、2009年第19～39週に46都道府県から7,525件の分離・検出が報告されており(2009年9月30日現在報告分) このうち、4,879件はPCRで検出、2,525件はPCRで検出後ウイルス分離培養も陽性、121件はPCRでは検出されず分離培養のみで陽性となっている。また、下気道炎(気管支炎、肺炎)87件、インフルエンザ脳症17件、死亡例6件が報告されている。

ちなみに、第19～39週に季節性インフルエンザウイルスの検出はAH1亜型(Aソ連型)60件、AH3亜型(A香港型)827件、B型102件の報告があり(2009年9月29日現在報告数)、AH1pdmはこの期間の分離・検出例全体の88%を占めている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2009年第19～39週
(病原微生物検出情報：2009年9月29日現在報告数)

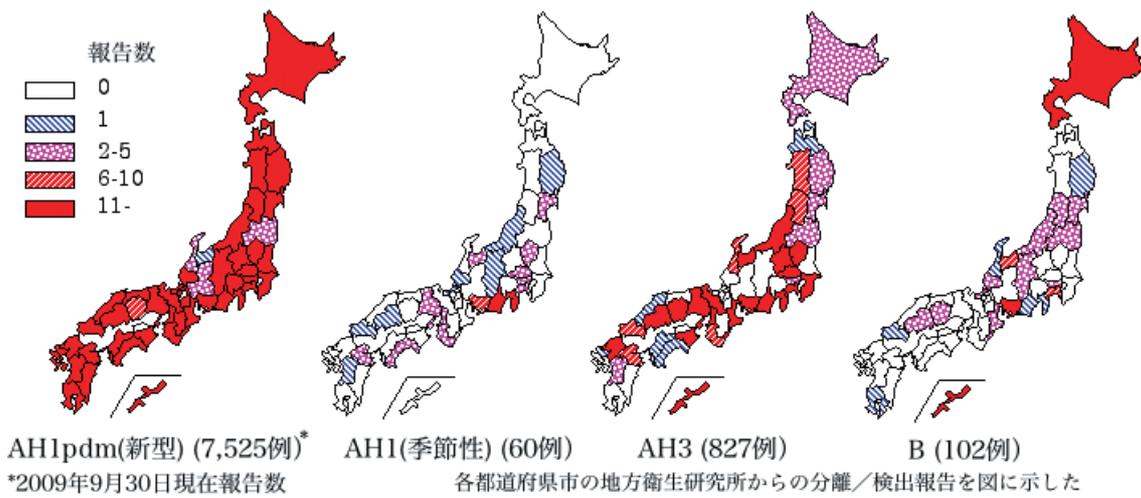


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した
(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第19週～39週
(病原微生物検出情報：2009年9月29日現在報告数)



IASR

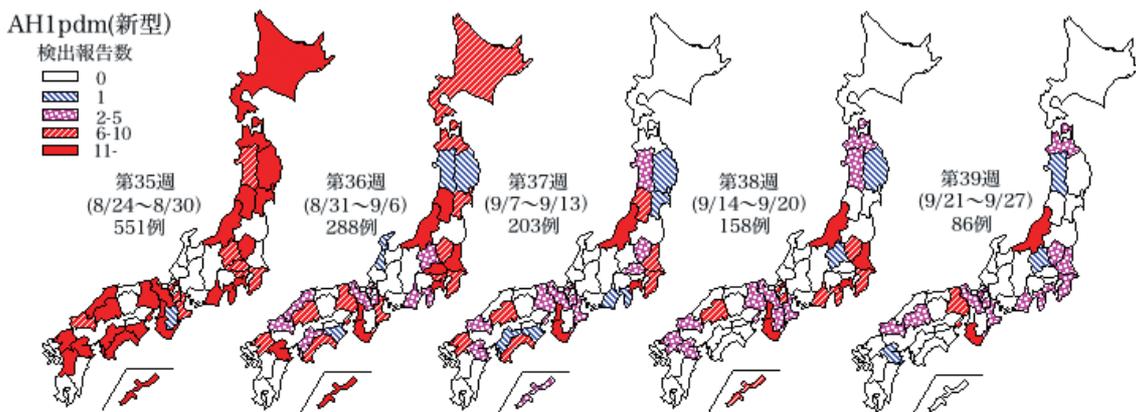
Infectious Agent Surveillance Report

直近の5週間(第35 ~ 39週)の分離・検出ではAH1pdmが33都道府県から計1,286件、AH3亜型が3都県から計4件、AH1亜型(季節性)が東京都から2件報告されている。第29週以降、B型は報告されていない。

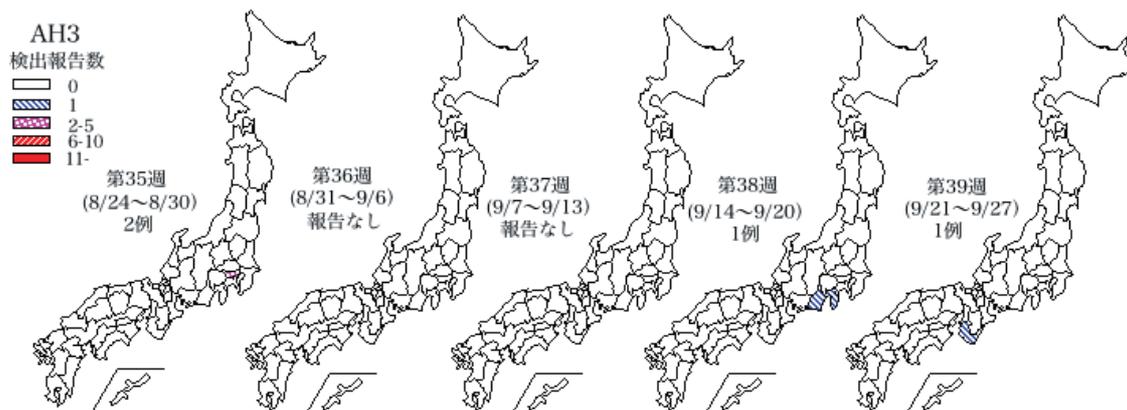
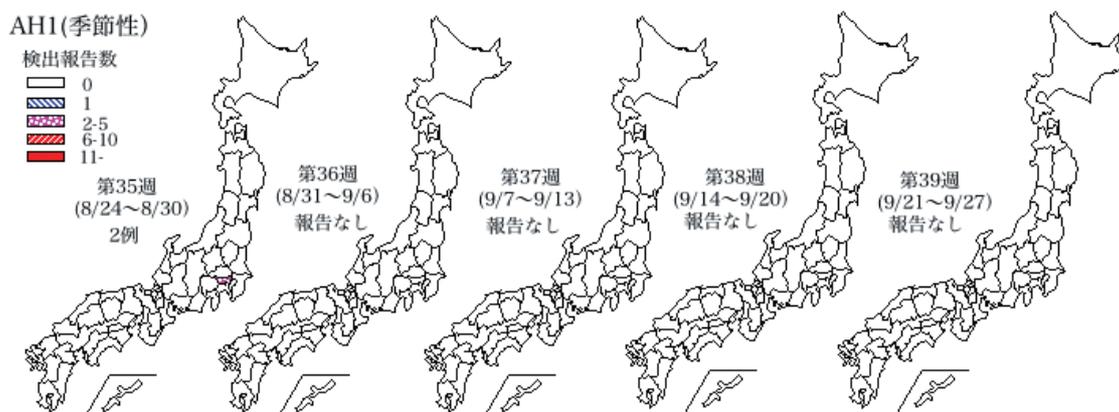
また、第25 ~ 29週には輸入例からの検出が大きく増加していたが[AH1pdmが508件、AH3亜型が56件、AH1亜型(季節性)が13件]、第30週以降、多くの自治体が疑い例の全例検査を中止したため、第30 ~ 34週にはAH1pdmが85件、AH3亜型が11件、AH1亜型が1件、第35 ~ 39週にはAH1pdmが4件、AH3亜型が1件と報告が減少している。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第35～39週



(病原微生物検出情報：2009年9月30日現在報告数)



(病原微生物検出情報：2009年9月29日現在報告数)

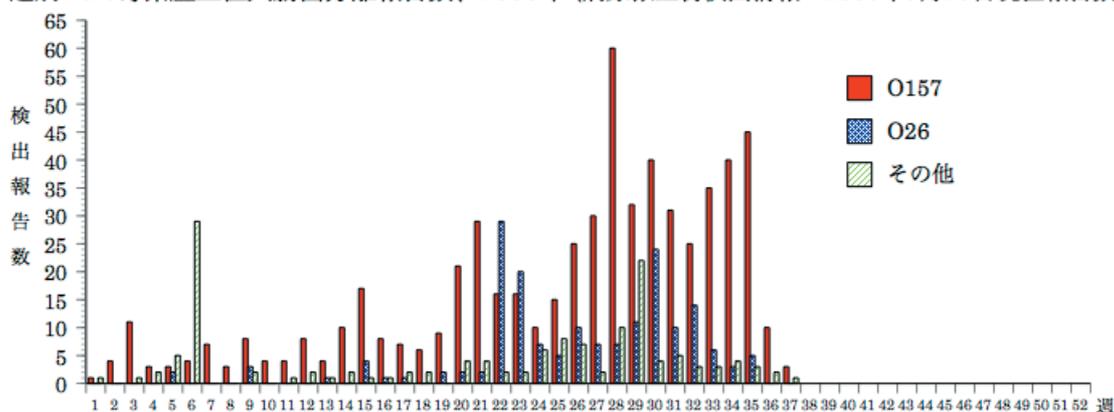
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した



ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2009年

2009年第1～38週(12/29～9/20)までの検出総数は925件で、このうち第34週以降の集団発生例からの検出として、第30～34週に静岡県(保育所)でO111が6件、第34週に千葉県(農場体験)でO157が1件、第36週に兵庫県(飲食店)でO157が1件、第37週に埼玉県(飲食店)でO157が2件報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2009年 (病原微生物検出情報：2009年9月29日現在報告数)

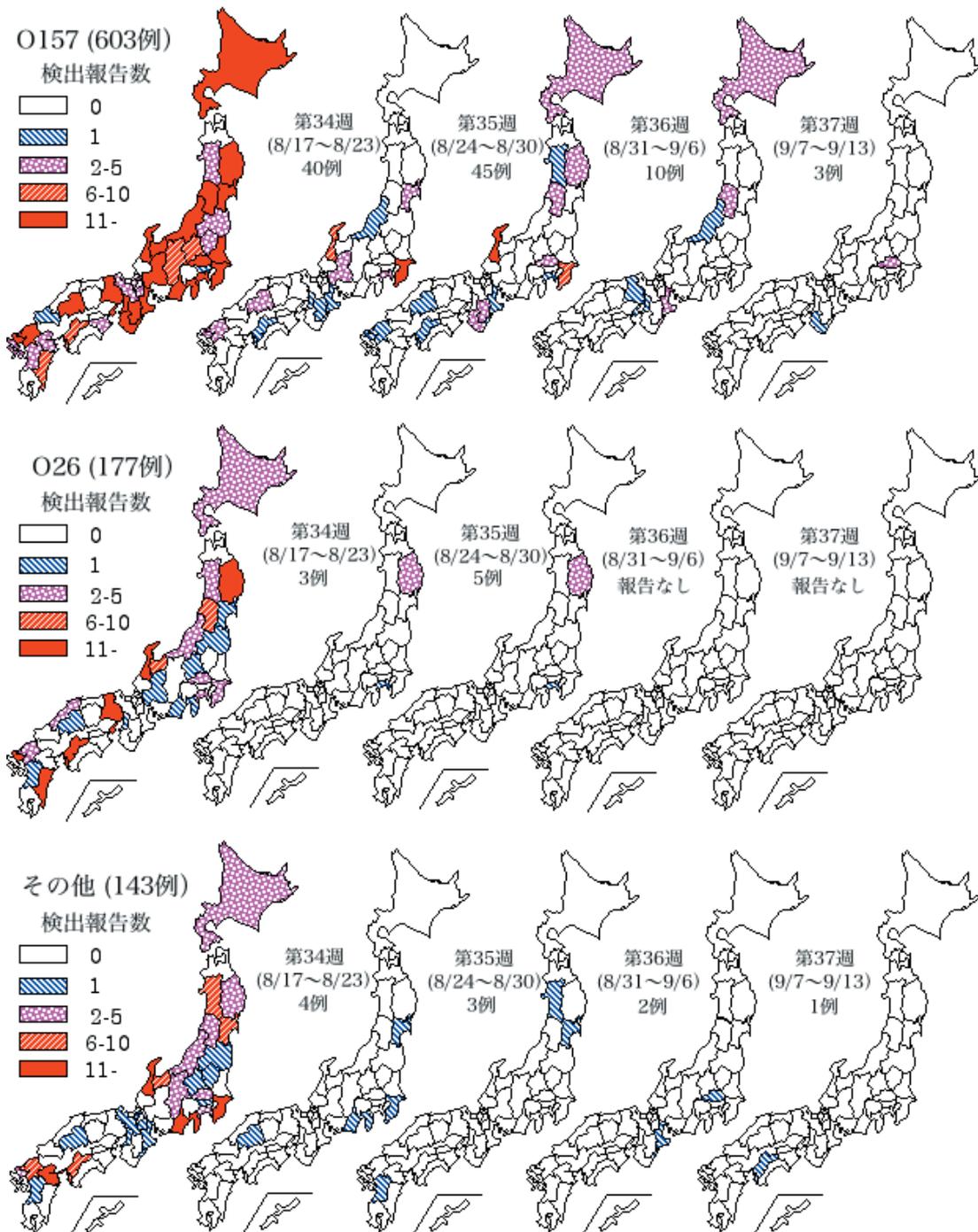


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2009年1～9月にO157が36都道府県から603件、O26が24道府県から177件、その他の血清型が27都道府県から143件報告されている。

週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2009年
(病原微生物検出情報：2009年9月29日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report



麻しん風しん第3期・第4期接種率向上の取り組み事例 - 5 第3期・第4期麻しん風しんの予防接種率向上に向けた取り組み

岩手県陸前高田市民生部健康推進課

はじめに

当市は、予防接種実施医療機関が少なく、個別接種を実施するには厳しい現状にあります。医師会や県立高田病院の医師の協力により実施しています。また、接種の予備日を設定したり、未接種者には何度か接種勧奨しています。

平成19年度(任意接種)

当市では、平成20年3月に卒業する高校3年生等を対象として、任意で麻しん風しん混合ワクチンの接種を平成20年2、3月の春休みに前倒し事業として実施しました。

この予防接種は県立高田病院の小児科医師から提案があり、市が予算を確保し全額補助という形で卒業する高校3年生へ接種をすることにしました。

実施するにあたり各高校と保護者・生徒の理解が必要なことから、圏域の各校(6校)の校長と養護教諭へ説明のために訪問しました。

また、学校によっては、直接生徒への説明を行ったり保護者にはパンフレットを送付して理解をもとめたりしました。その結果の接種率は82.5%となりました。

平成20年度(定期接種)

実施方法

第3期(中学1年生)

学校教育課と各学校長へ協力依頼をお願いして、夏休み期間を利用して保健センターや診療所で集団接種により実施。夏休み期間の接種率は98.2%という結果になりました。その後、未接種者には養護教諭の協力と電話等により接種勧奨をおこない、新たな接種日を設け実施し、平成21年3月末には100%となりました。

第4期(高校3年生)

県立高田病院で集団接種を実施 4月～5月の毎週金曜日午後2:00～ 計6回(1回の予定人数 30～40人弱)

実施にあたり、再度気仙管内の各校(6校)校長と養護教諭への説明に訪問しました。

< 高校との打合せ内容 >

- (1) 接種時期は4月から6月が望ましいとされていることや「麻しん排除計画」により接種率95%以上の目標があることを説明して、学校への協力をお願いしました。
- (2) 接種日時が授業時間内の設定になったことから生徒が学校を早退しても公欠扱いにしていたくよう願いました。
- (3) 養護教諭からは対象者に声掛けや接種勧奨をしていただくことに了解をいただきました。

5月末の実施率は88.7%でしたが、その後予備日を設定し未接種者には再通知をして実施しました。また電話等にて接種勧奨した結果、3月末には接種率99.6%に達しました。

今回のように第3・4期とも接種率を上げることができたのは、次のことが考えられます。

- (1) 県立高田病院と医師会の協力があったこと。
- (2) 高校3年生を対象として平成20年2、3月に任意の予防接種を実施したことにより、H20年度の対象者の意識が高くなったこと。
- (3) 各学校や養護教諭等の理解と協力をいただいたこと。
- (4) 運動系のクラブ活動している生徒については、対象者を把握し、連絡をとり依頼書等で実施したこと。



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュースを掲載しています。

パンデミック(H1N1)2009 短報: no.10 - 学校での介入手段

2009年9月11日

WHOは本日パンデミックインフルエンザH1N1の影響を減らすための介入方法についての助言を文書として発行する。これらの推奨は、各国でのいくつかの経験ならびに学校閉鎖の健康、経済、社会的影響を調査した研究の結果に基づいている。これらの研究はWHO内部のパンデミック数理モデルネットワークによって行われた。

今日までの経験から、学校内においても、社会全体としても学校が感染伝播を増幅する場であることは明らかである。学校におけるアウトブレイクが、ウイルスの感染伝播の機会を多く与えており今回のパンデミックにおいて重要な特徴であることは分かっているが、学校内での感染拡大を阻止、あるいは制限する有効な介入手段はない。

WHOそれぞれの地域における疫学状況、活用できる資源、学校の社会における役割に合わせて、様々な介入手段を使用することを推奨する。国や地域の機関は、どのような手段をどの時期にどのように導入するかという点に関して判断すべき最適なポジションにある。

WHOは引き続き、生徒、先生、その他の職員で体調不良な人は自宅待機するように推奨する。学校にいる間に病気になった学生やスタッフを隔離する空間を確保する計画を行い、実行に移すべきである。

学校は、手指衛生と咳エチケットについて啓発し、十分な備品を供給すべきである。正しい清掃と換気、さらに集団となる機会を減らす工夫を行うことも推奨する。

学校閉鎖と学級閉鎖

パンデミックにおいて、どの時点で学校を閉鎖するかという判断をするのは非常に複雑で周囲の状況に影響を受ける。WHOは全ての設定に対して対応できる学校閉鎖についての推奨を出すことはできない。しかしながら、北半球、南半球を問わず、世界各国の最近の経験、数理モデル、そして季節性インフルエンザの流行時から得られた経験というものから、一般的なガイダンスを得ることはできる。

学校閉鎖は、学校での感染伝播を減らし、病気が社会全体に蔓延することを防ぐために、先を見越した介入手段として機能することができる。また、学校閉鎖は、学生の欠席者が多く、スタッフがこれ以上授業を続けることは現実的ではないと判断した際に、事態に対応する介入手段としても機能する。

積極的な学校閉鎖の利点は、アウトブレイクの拡大をその地域で遅らせることで、感染のピークを下げるができることである。この利点は、感染者数が増え、医療機関が飽和状態、あるいは破綻する危険がある地域では、より一層重要となる。学校閉鎖により感染拡大のスピードを遅らせることで、予防手段を強化したり、ワクチンや抗ウイルス薬、その他の介入手段の供給準備を行う時間を稼ぐことができる。

学校閉鎖のタイミングは極めて大事である。数理モデル研究は、学校でのアウトブレイクの極めて初期、理想的には全体の1%が病気になる前に学校閉鎖を行うことが、一番大きなメリットがあると指摘している。理想的な状況では、学校閉鎖はパンデミックの極期において、診療を求める人の30~50%の減少が期待できる。しかしながら、地域内での流行時にもし学校閉鎖が遅れると、地域の流行の減少は極めて可能性が低くなる。

学校閉鎖の導入を行うのであれば、学校にいない時の学生同士の交流を制限することも含めなくてはならない。もし学生が学校以外の場所で集まれば、そこでウイルスがばらまかれ、学校閉鎖の効果が減少、さらには打ち消されてしまう可能性がある。

経済と社会的コスト

決断を下す際に、保健当局関係者、ならびに学校関係者は学校閉鎖における利点よりもはるかに大きく釣り合わない経済的、社会的コストについて注意する必要がある。

主な経済的コストは、子供が自宅にいて、世話をするために両親や保護者が仕事を休まなくてはならないことである。研究結果からは、学校閉鎖により、通常の欠勤状況と病気による欠勤者に加え、最大労働力の16%の労働力が失われる事態を招くと推測している。このような推測は、労働力の構成などいくつかの要因によって左右されるため、国々によって結果も違ってくる。

学校閉鎖は医療機関受診者のピークを減らすことができるが、多くの医師、看護師が学童を子に持つ両親であるために、逆に、医療サービスの体制を崩壊させることにもつながる。

決断にあたっては、社会福祉事業についても考慮する必要がある。学校閉鎖により食事の提供といった非常に有益な学校におけるプログラムが中止されたり、保護者なしで自宅に残されたりすることにより、小児の健康や福祉が犠牲になる可能性もある。

パンデミック(H1N1) 2009 短報: no.11 - パンデミックインフルエンザワクチンの現状

2009年9月24日

オーストラリア、中国、アメリカの監督機関は、パンデミックインフルエンザワクチンを認可し、日本やヨーロッパの国々も間もなくこれに続く見込みである。認可までの時間は、各国の手続きに要する時間、これまでに認可されてきたワクチンの種類、企業の監督機関に提出する書類準備の進捗状況により左右される。

生産能力

2009年5月に、WHOは条件が整えば、世界中で最大、年間約50億接種分(ドーズ)のパンデミックインフルエンザワクチンが生産可能と推計した。その後、生産量に関する良い情報と適切なワクチン成分が得られた。

WHOは現在、世界中のパンデミックインフルエンザワクチンの生産量を、年間約30億ドーズと推定している。この推計値は当初の予定より少ないが、治験の初期段階の結果を見ると、ワクチン1回接種で健康な成人と年長小児が疾病予防に十分な免疫力を獲得できることが示唆され、その結果、現状の予定生産量の倍の人々を守ることができることになる。

この生産量では、新型でヒトからヒトへの感染能力をもったウイルスから、事実上感受性のある全人口(68億人)をワクチン接種により予防するには不足している。世界のインフルエンザワクチン生産能力は限られており、不十分であり、増産は難しい。

パンデミックワクチンはアウトブレイク前あるいはピーク近くに、他の予防戦略と合わせて導入されると最も有効である。監督機関とワクチン製造者双方がワクチン生産量をできる限り増やせるように多大な努力を行なっている。

多くの経済的に裕福な国は、事前に企業と契約し、全国民に接種できるだけのワクチンを確保している。しかし、低あるいは中所得国では、財政的に厳しい状況にあるため、限られたワクチンを入手することは困難である。これらの国へのワクチンの供給は企業や他の国々の寄付に寄与するところが多い。

途上国でのワクチン接種の可能性

先週、アメリカに呼応してオーストラリア、ブラジル、フランス、イタリア、ニュージーランド、ルウェー、スイス、そしてイギリスが途上国へのパンデミックワクチンの寄付を表明した。他の国々からの同様なサポートは、大歓迎であり、期待している。

WHOはこれら寄付されたワクチンの分配を調整している。以前、WHOは地域事務局や各国事務局を通じて、寄付が無ければパンデミックワクチンを入手できない国を調査した。

地域接種計画、ワクチン、ロジスティックの専門家がWHOのSHOCルーム(Center for Strategic Health Operations: 戦略的行動本部)に集って作業を進めている。最初の段階として、90カ国以上の国々に約3億ドーズのワクチンを分配する。

寄付されたワクチンの最初の出荷分の分配は11月に開始されると予測されている。WHOは、医療従事者の早期のワクチン接種を推奨している。

ワクチンの安全性

各国の医薬品の監督機関は、ワクチンを承認する前に注意深くワクチンによって得られるメリットと既に知られている、あるいは疑われている有害事象について検証すべきである。なぜならパンデミックウイルスは新しく出現してきたばかりである為、ワクチンの免疫応答と安全性の基本データ収集のため、今現在、実験室での研究や治験が行なわれているからである。今日までにまとめられている治験のデータでは、パンデミックワクチンは季節性インフルエンザワクチンと同程度安全であるとされている。

ワクチン接種後の副反応も季節性インフルエンザワクチンで見られる結果と同程度であると予想される。最も良く認める副反応は接種部位の局所反応(疼痛、腫脹、発赤)と、全身性反応(発熱、頭痛、筋肉痛または関節痛)である。これらの症状を呈したほとんどの人の症状は軽く、治療を必要とはせず、1~2日で軽快する。

しかし、たとえ大規模の治験を行なっても、何億の人にワクチンを接種することで認められるような稀に起こる事象を突き止めることはできない。

WHOは、パンデミックワクチンを導入する全ての国々に対して、安全性のモニタリングと、有害事象発生時の報告を強化するように助言する。多くの国は、既にワクチンの安全性をモニターするシステムを導入している。

市販後サーベイランスのデータを国際的に共有することは、ワクチン政策の変更が必要かどうか、リスクと有益性の評価に基づくアセスメントや決定に重要である。WHOはこれらの有害事象報告と迅速なデータ収集のために、共通の標準プロトコル開発を完了し、その結果をウェブサイトを用いて各国と情報を共有する。

カメルーンでの黄熱

2009年10月1日

2009年9月8日、カメルーン保健省は、通常行われている黄熱サーベイランスによって判明した黄熱確定例を発表した。最初の症例は南西地域、Buea地区のKotto 1-Bomboko村で確認された。Buea地区およびMbongue地区では2009年10月に165,138人を対象とした大規模なワクチンキャンペーンが予定されている。

患者は61歳の男性で黄熱ワクチン接種歴はない。2009年7月27日に発熱、黄疸、背部痛で発症した。Buea地域の開業医を受診し黄熱の臨床診断を受けた。

カメルーンのヤウンデにあるパスツール研究所で行われた簡易検査で黄熱の可能性が高かったため、地域委託検査機関であるセネガルのダカールにあるパスツール研究所で確定検査が行われた。他の出血熱の検査は陰性であった。

アウトブレイク調査によって疑い例51例の血清検体が得られた。この検査はヤウンデのパスツール研究所で行われているところである。カメルーンでは以前複数の地域で黄熱が発生したため、

2009年5月に特に危険の高い162地区で黄熱ワクチンのキャンペーンが行われていた。Buea地区はこれまでは黄熱流行地域とはみなされていなかった。今回の流行への対応によって、黄熱ワクチンキャンペーンの対象地域を拡大することになる。

今回用いる黄熱ワクチンは、黄熱に対するワクチン供給の国際調整グループ(YF-ICG)が管理し、ワクチンと予防接種のための世界同盟(GAVI)が資金を提供している国際緊急備蓄から供与される予定である。



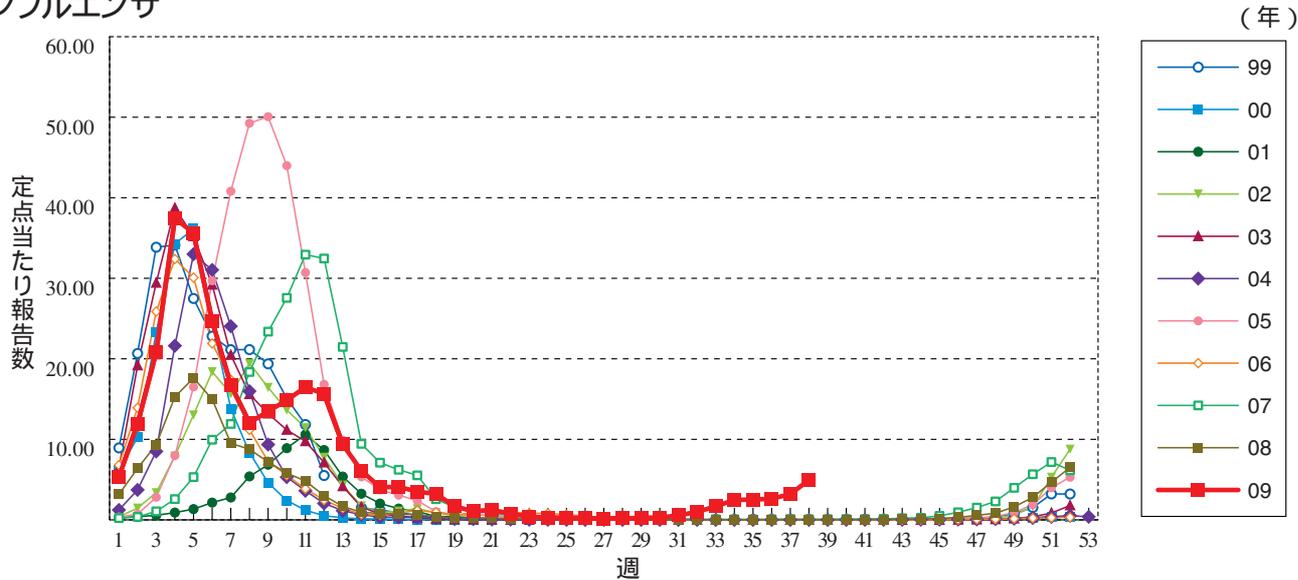
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

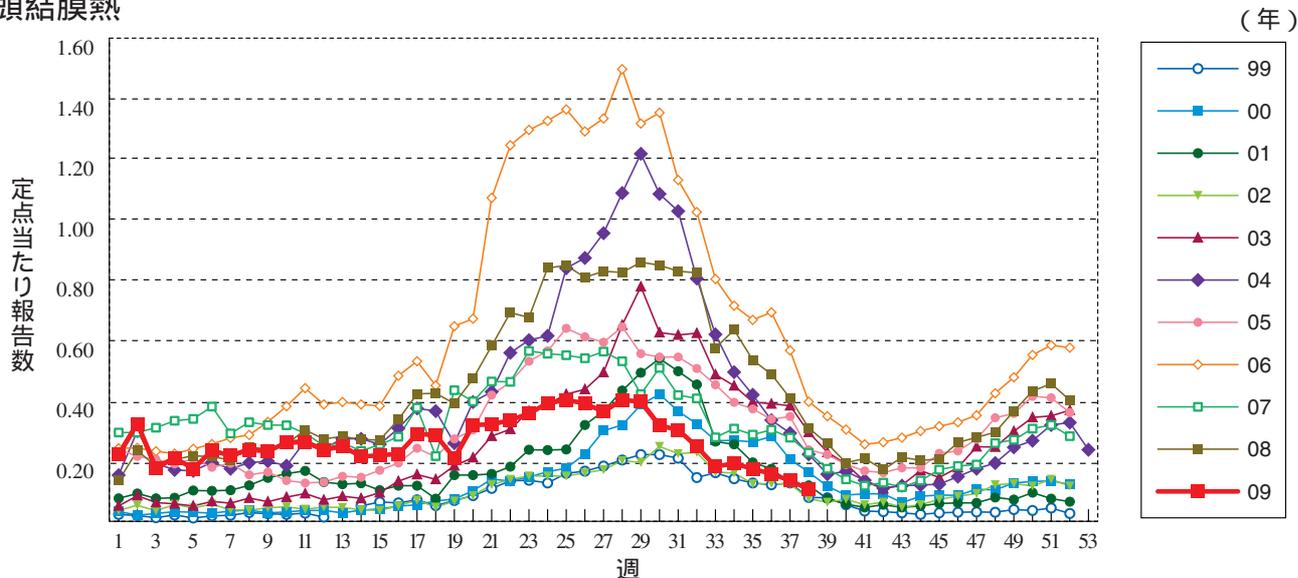


グラフ総覧(38週)

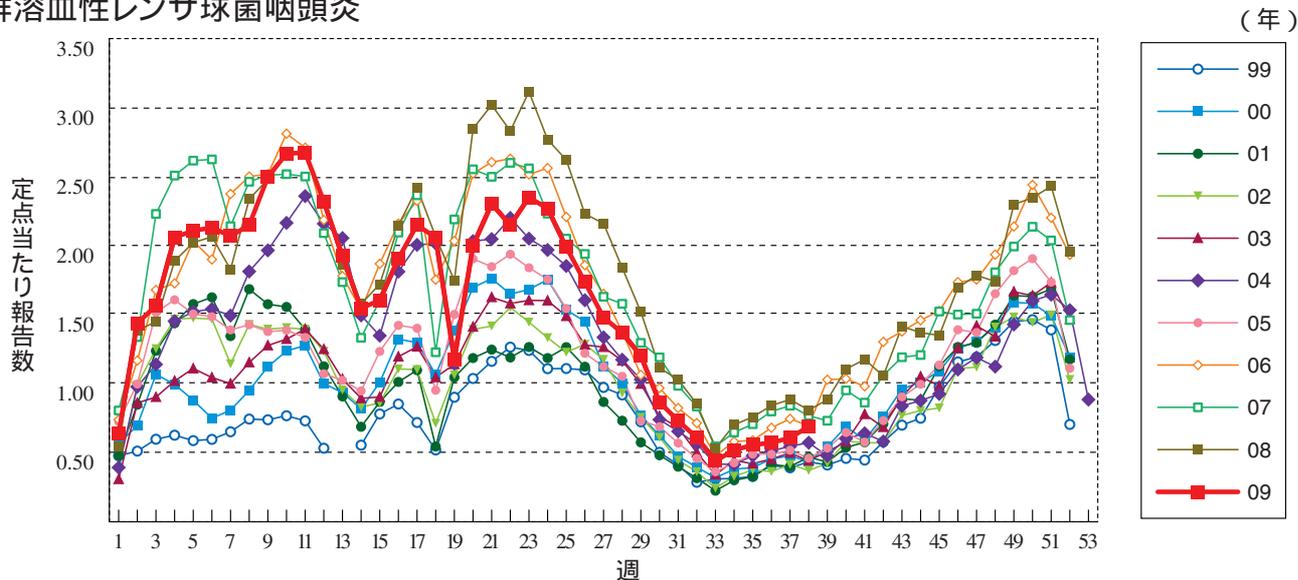
インフルエンザ



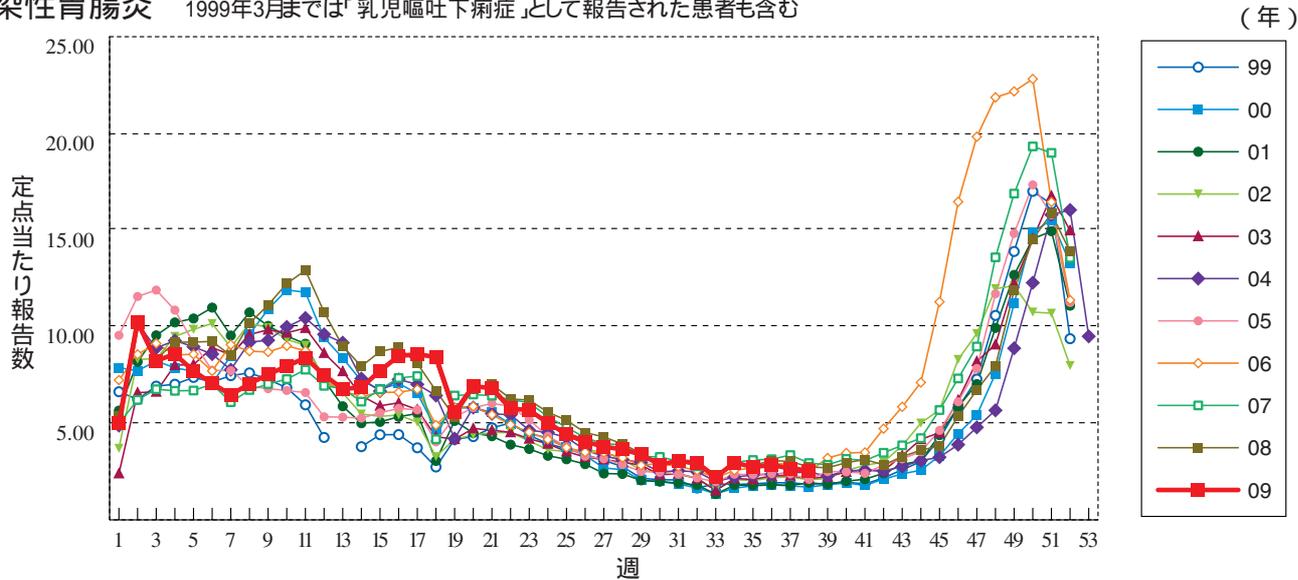
咽頭結膜熱



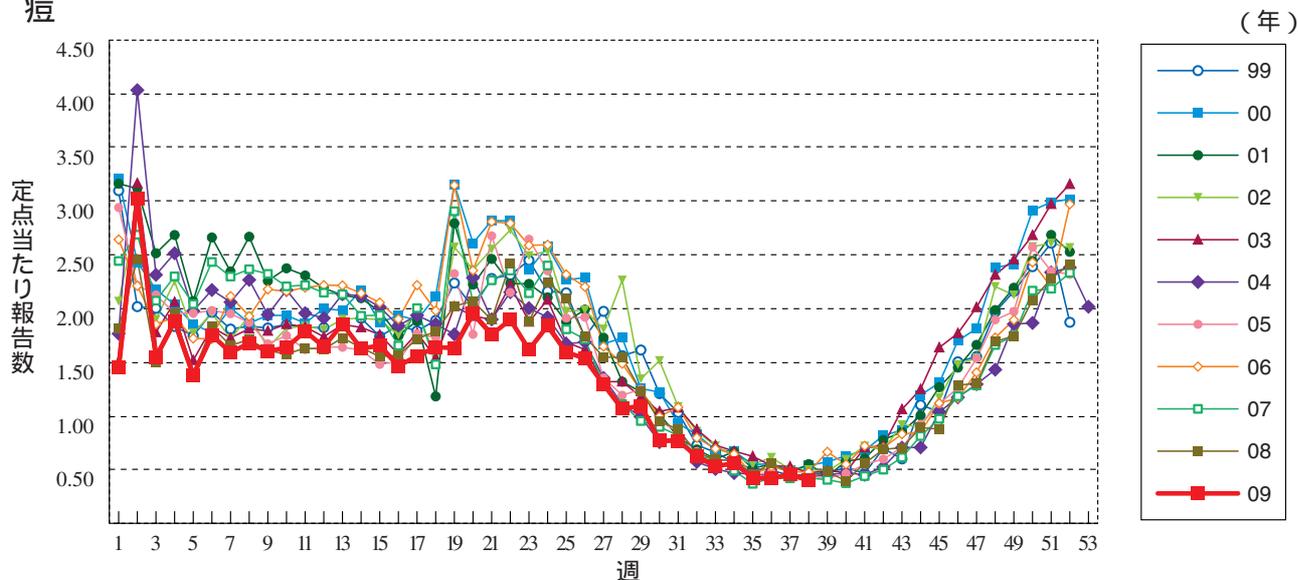
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



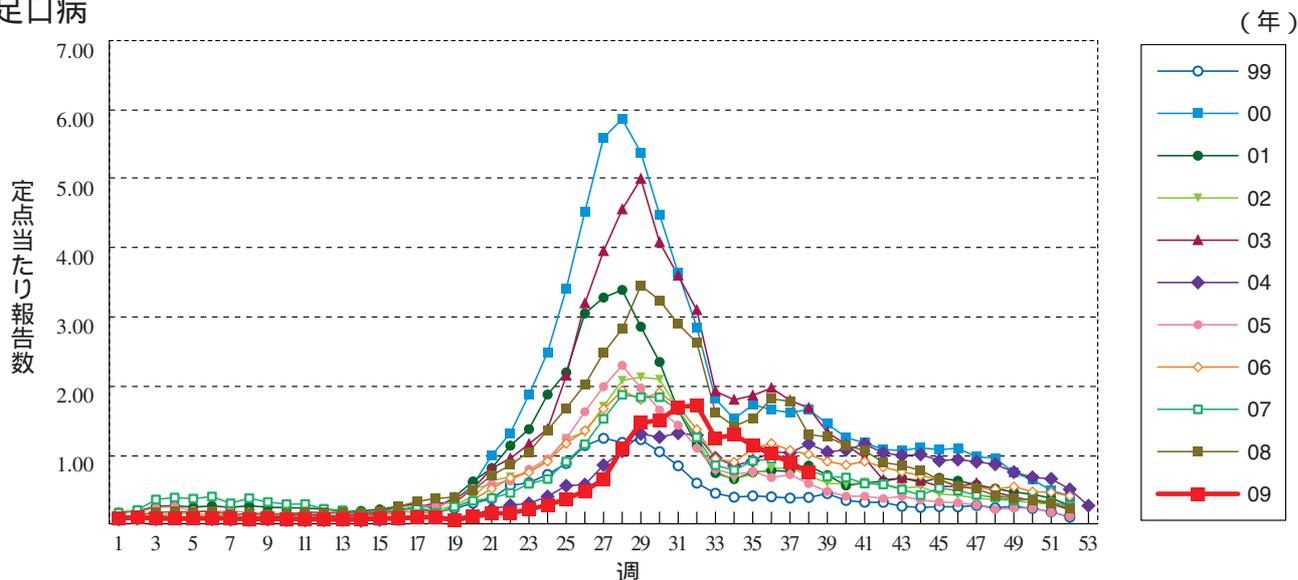
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



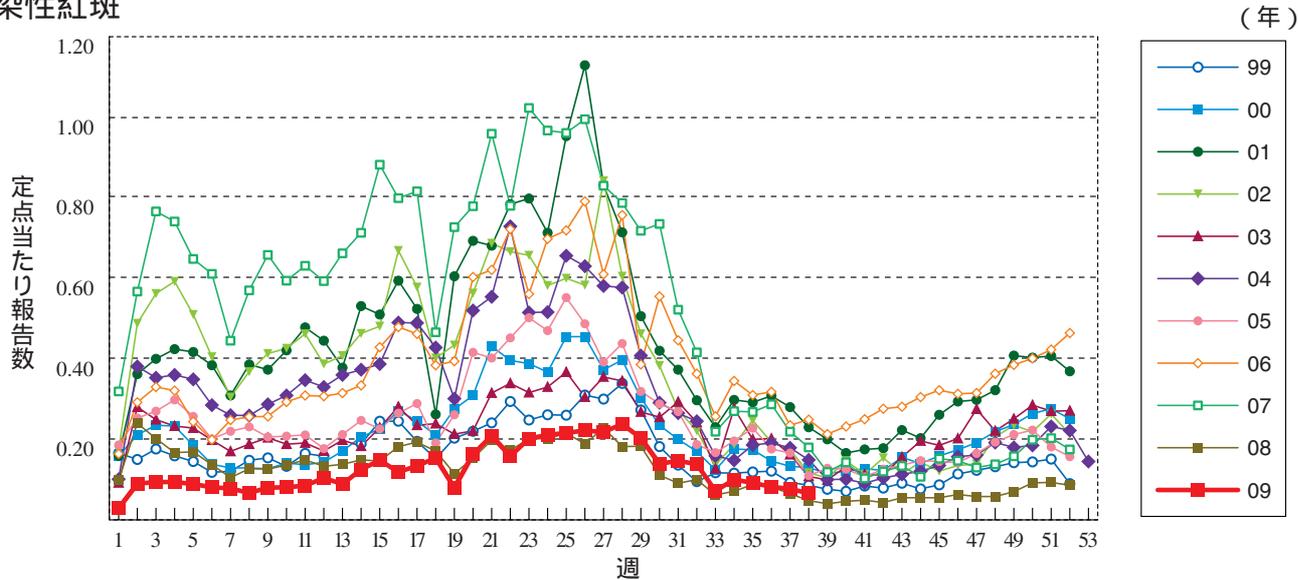
水痘



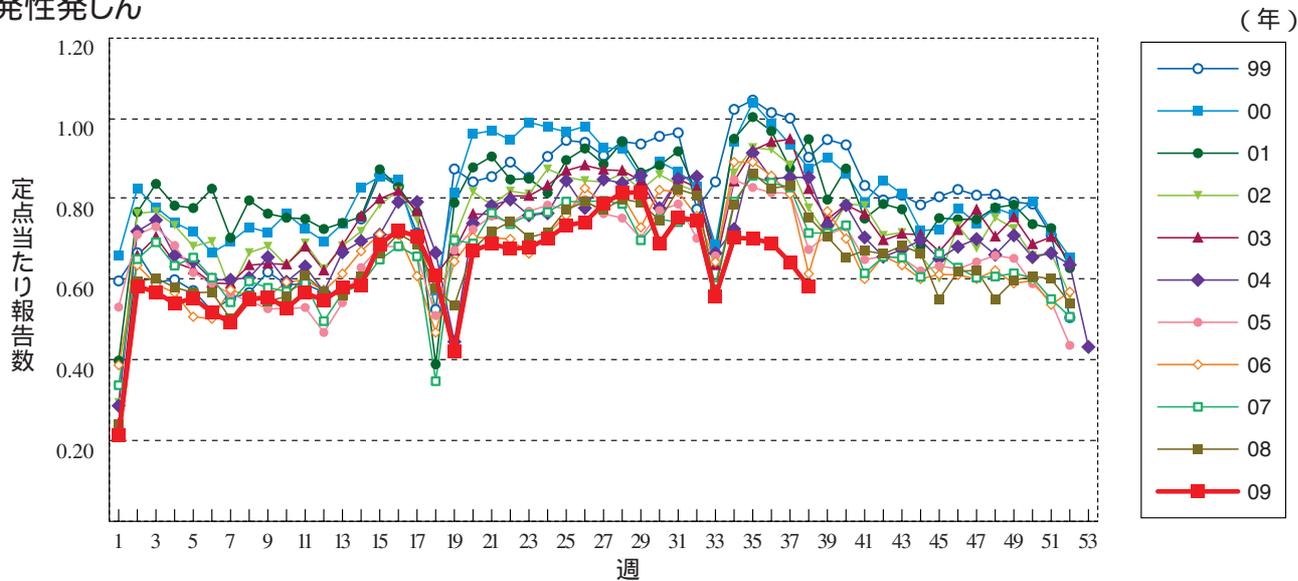
手足口病



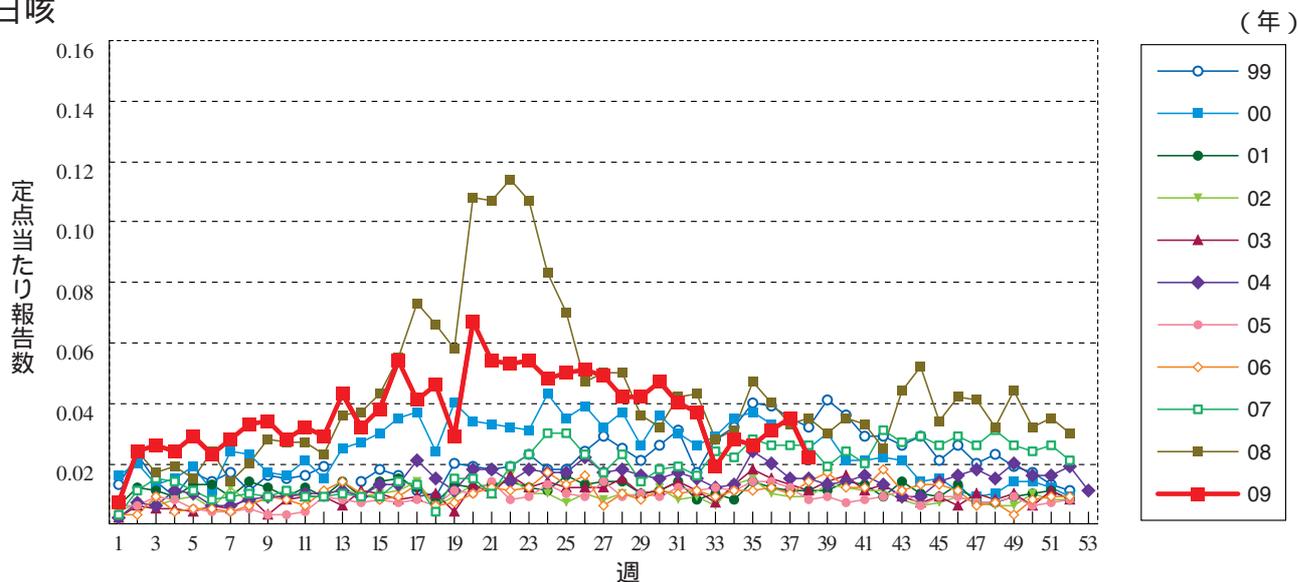
伝染性紅斑



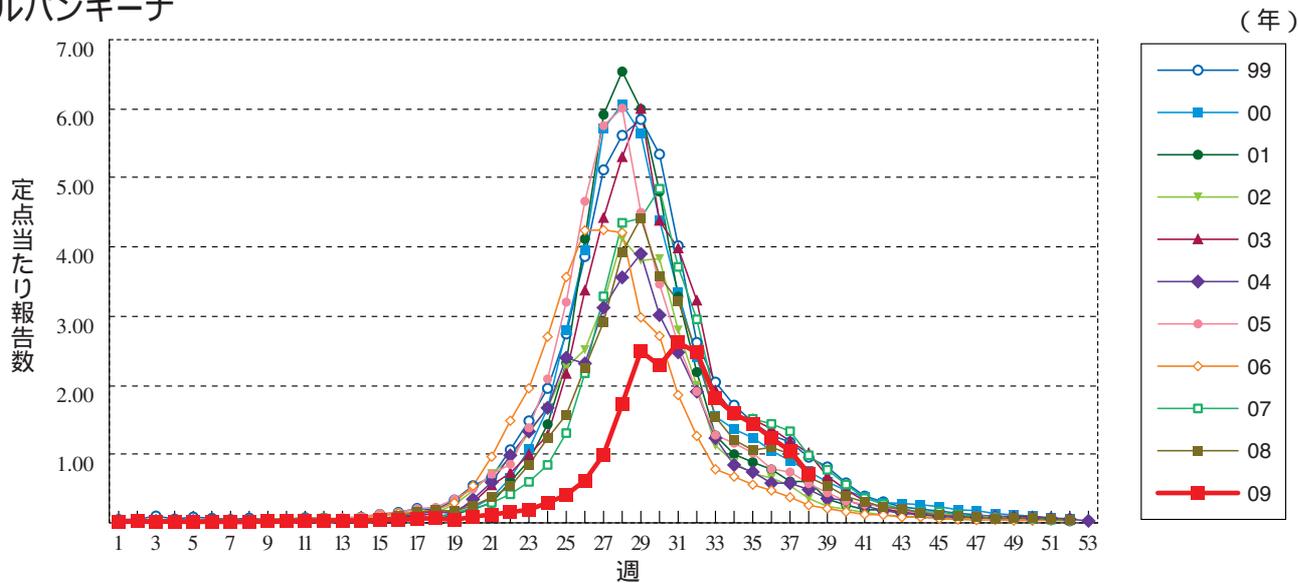
突発性発しん



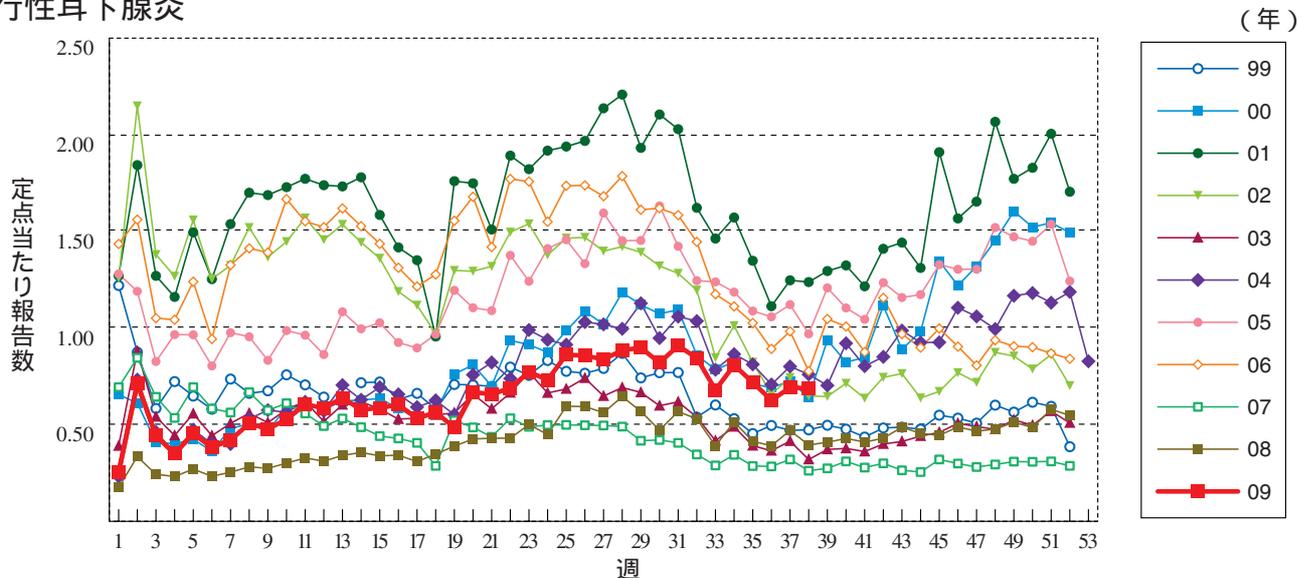
百日咳



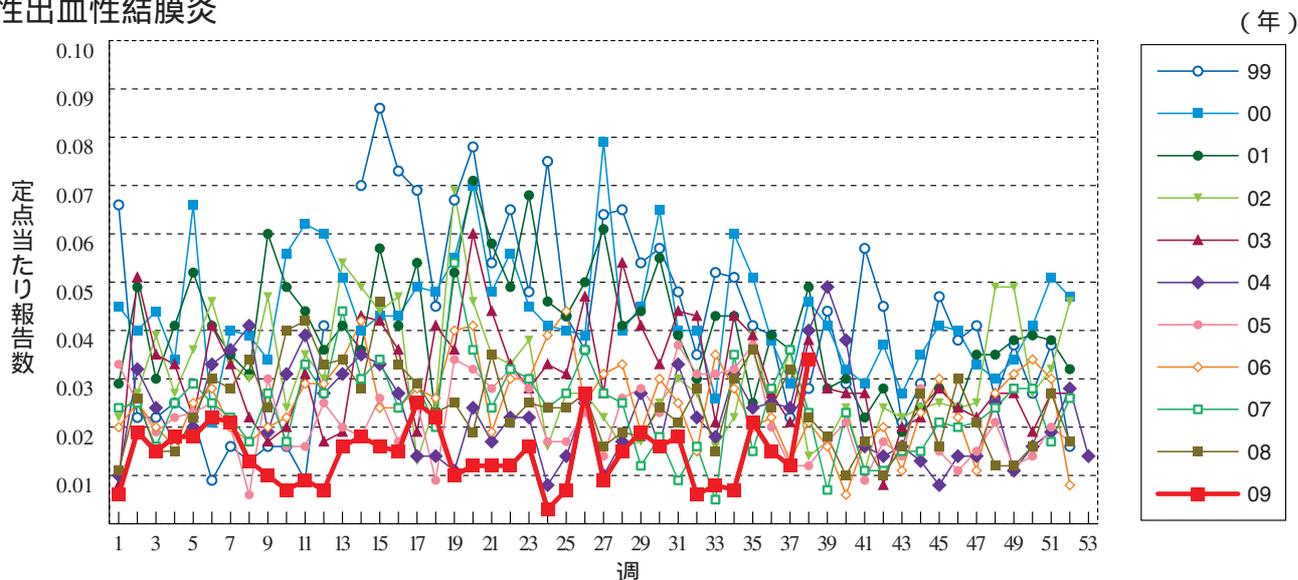
ヘルパンギーナ



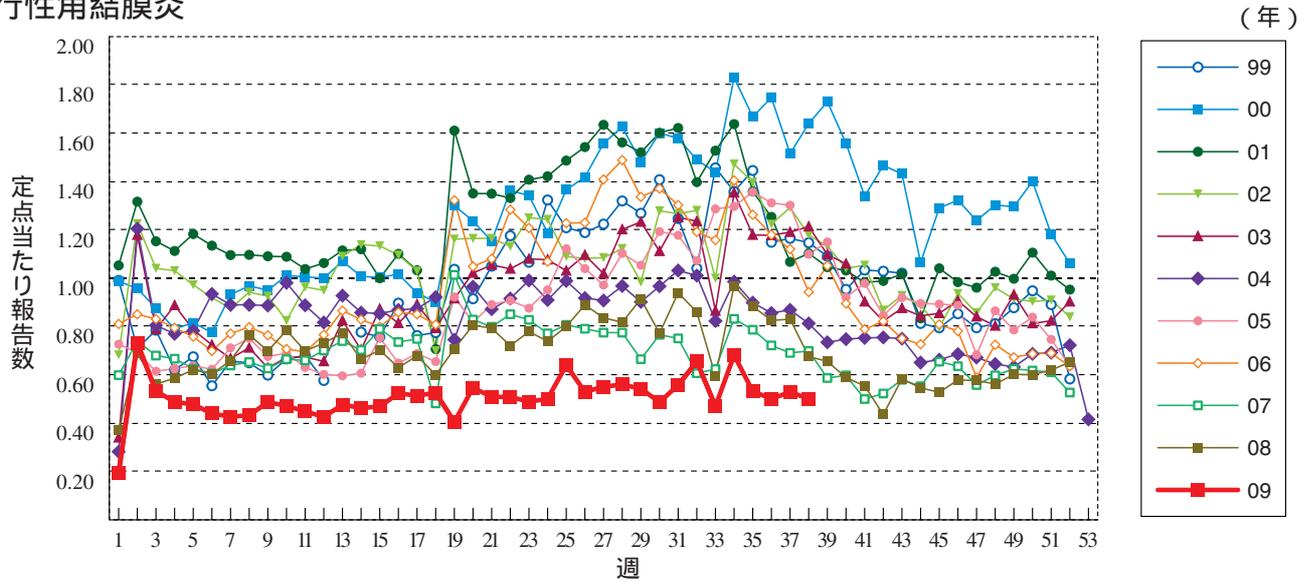
流行性耳下腺炎



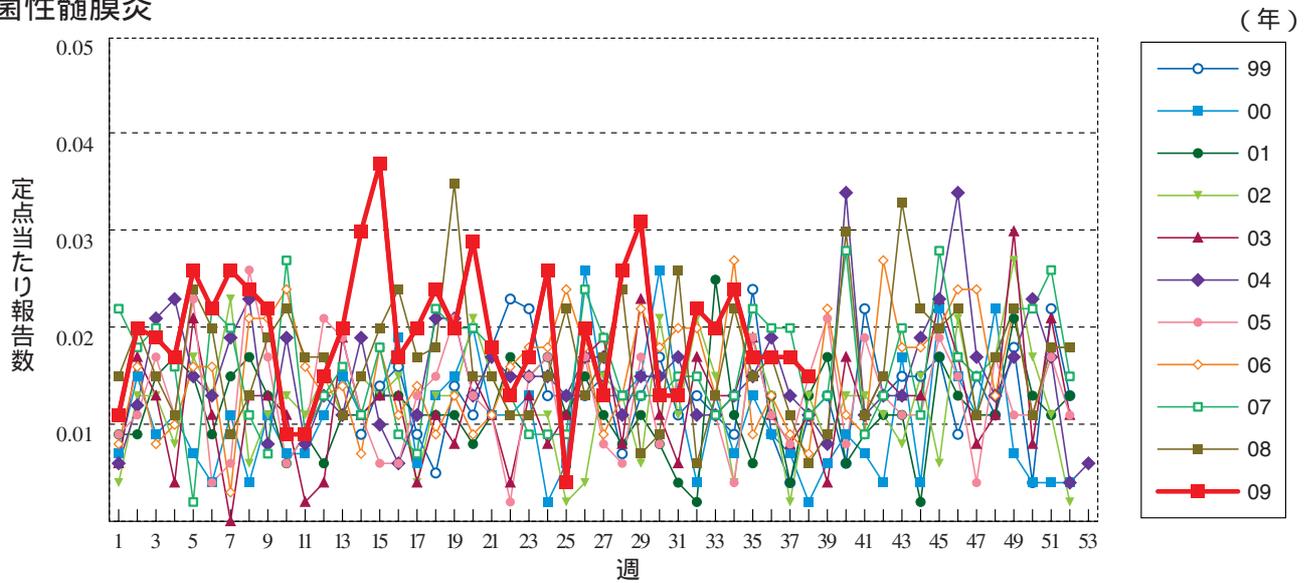
急性出血性結膜炎



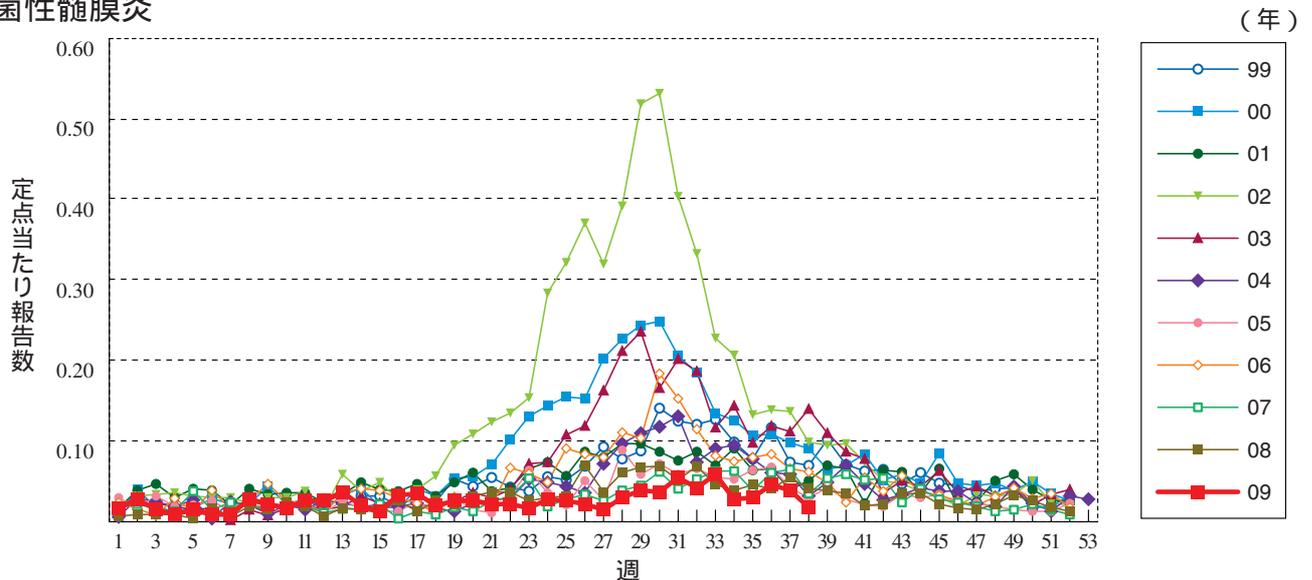
流行性角結膜炎



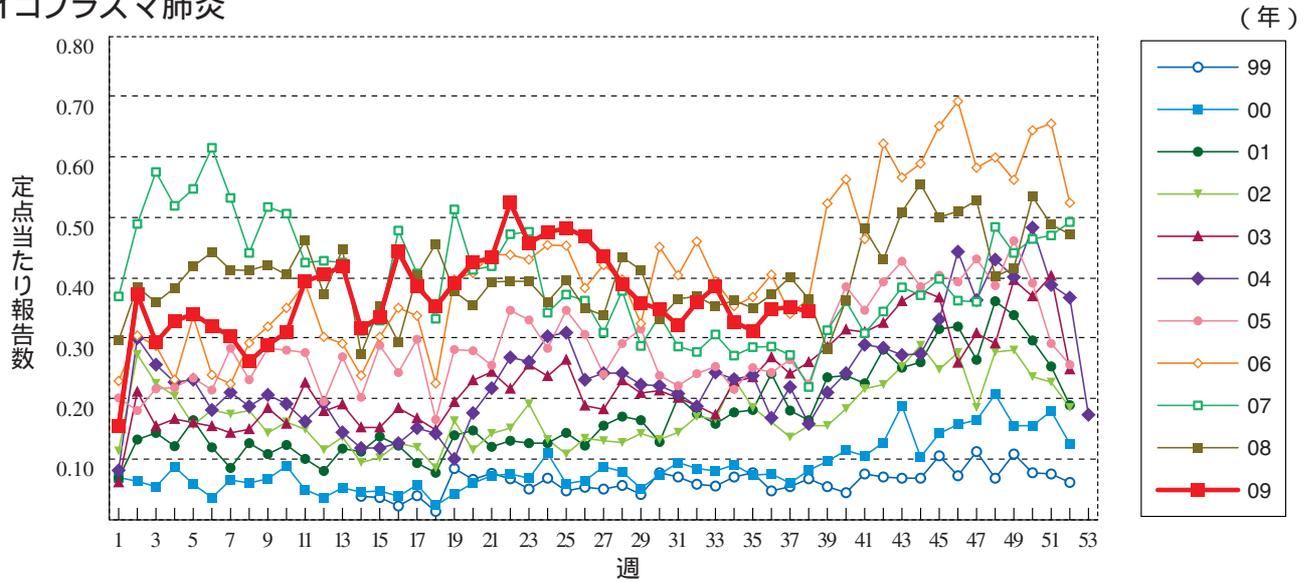
細菌性髄膜炎



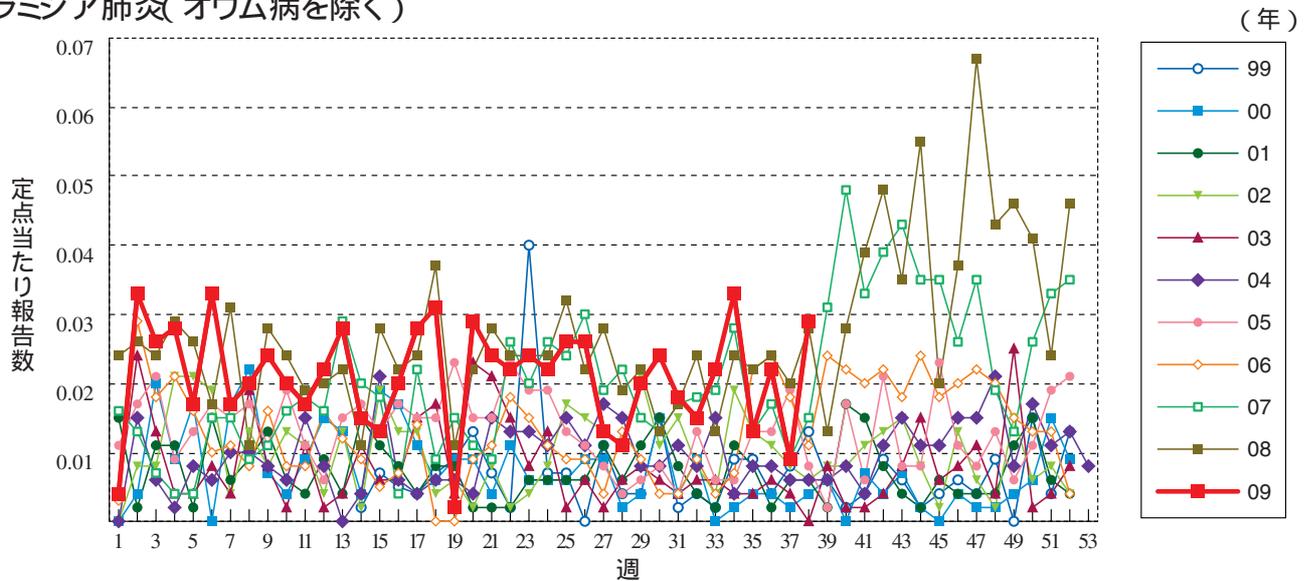
無菌性髄膜炎



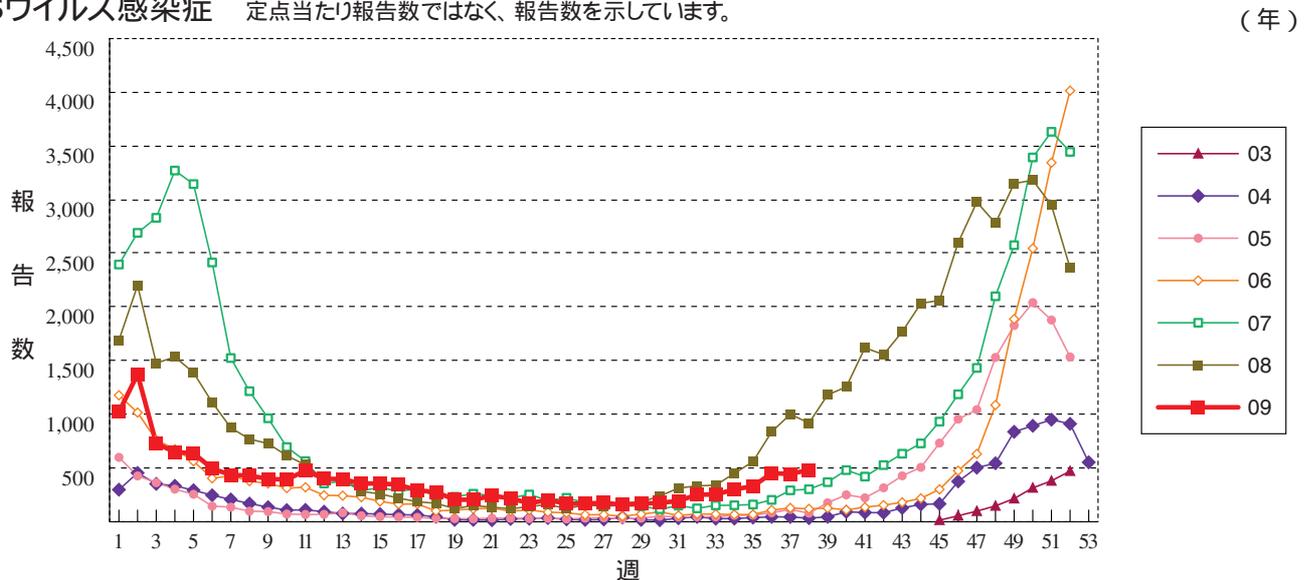
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





38週のデータ

注) 表中の報告数は9月25日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年38週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	272	19102
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	581
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	253
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	132
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	233
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	113
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	133
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	209
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	342
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	211
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	119
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	892
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	1069
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	2927
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	1374
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	245
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	134
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	137
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	119
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	221
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	366
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	511
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	1478
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	283
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	198
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	466
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1048
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	665
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	244
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	204
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	115
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	290
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	424
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	207
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	153
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	178
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	203
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	119
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	821
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	144
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	264
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	253
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	197
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	274
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	219

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年38週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	8	8	126	89	2791	1	23	-	15	1	38	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	74	-	1	-	-	-	10	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28	-	1	-	-	1	1	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	54	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	73	-	-	-	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	1	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	65	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	24	-	-	-	-	-	1	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	25	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	-	2	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2	57	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	103	-	1	-	-	-	1	
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	8	4	118	1	1	-	-	-	2	
東京都	-	-	-	-	-	-	2	3	33	12	245	-	10	-	7	-	6	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	16	-	121	-	-	-	2	-	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	45	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	30	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	79	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	24	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	34	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	50	-	2	-	1	-	2	
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	11	3	162	-	2	-	3	-	2	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	27	-	-	-	-	-	2	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21	-	-	-	-	-	1	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	59	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	4	2	121	-	2	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	146	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	33	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	93	-	2	-	-	-	1	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	81	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	35	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	64	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	9	191	-	-	-	-	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39	-	-	-	1	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	20	-	-	-	-	-	1	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	2	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	89	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47	-	1	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	54	-	-	-	-	-	1	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年38週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	95	-	17	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	1	-	15	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	16	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年38週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108	2	56
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	4
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	22
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年38週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	2	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年38週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	45	-	-	-	5	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	1	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年38週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	6	497	1	12	-	-	6	581	-	166	6	178	-	12	2	93
北海道	-	-	-	17	-	-	-	-	-	15	-	2	-	2	-	2	-	1
青森県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	9	-	-
岩手県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	5	-	1	-	4	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	12	-	5	-	-	-	-	1	2
秋田県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
福島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	2	-	6	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	5	-	3	-	4	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	5	-	3	-	-	-	2
埼玉県	-	-	1	20	-	-	-	-	-	23	-	11	-	13	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	17	-	1	-	-	-	39	-	3	1	18	-	-	-	2
東京都	-	-	2	40	-	-	-	-	-	100	-	25	-	19	-	1	-	10
神奈川県	-	-	-	27	-	1	-	-	-	45	-	13	1	6	-	-	1	9
新潟県	-	-	-	17	-	1	-	-	1	6	-	-	-	8	-	-	-	1
富山県	-	-	-	15	-	-	-	-	-	5	-	1	-	2	-	-	-	-
石川県	-	-	-	16	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	1	2	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	2
長野県	-	-	1	10	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4	-	-	-	3
岐阜県	-	-	1	18	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	21	-	-	-	-	1	10	-	5	-	2	-	-	-	2
愛知県	-	-	1	33	-	-	-	-	1	42	-	13	-	5	-	-	-	5
三重県	-	-	-	8	-	1	-	-	-	3	-	-	1	2	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	9	-	1	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	11	-	-	-	-	-	15	-	5	-	3	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	24	-	-	-	-	-	71	-	12	-	28	-	-	-	6
兵庫県	-	-	-	27	-	-	-	-	-	29	-	11	-	1	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	15	-	8	-	2	-	-	-	3
広島県	-	-	-	17	-	-	-	-	1	8	-	11	-	6	-	-	-	3
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	2	1	3	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	16	-	8	-	2	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	3	-	1	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	3	-	7	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	7	1	7	-	-	-	3	-	-	1	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年38週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	86	14	1065	1	55	-	9	-	1	8	520	4	82	-	-	-	73
北海道	-	3	1	25	-	3	-	-	-	-	-	13	-	6	-	-	-	4
青森県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	12	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	3	-	19	-	2	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	16	-	1	-	1	-	-	1	5	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	3	-	12	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	25	-	-	-	-	-	-	-	13	-	2	-	-	-	6
千葉県	-	4	-	37	-	2	-	2	-	-	-	17	-	4	-	-	-	4
東京都	-	8	7	346	-	16	-	1	-	-	2	144	-	5	-	-	-	10
神奈川県	-	7	-	57	1	6	-	1	-	-	1	24	-	2	-	-	-	15
新潟県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2
富山県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1
長野県	-	1	1	9	-	-	-	-	-	1	-	4	-	4	-	-	-	2
岐阜県	-	2	-	10	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	19	-	1	-	-	-	-	-	15	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	8	1	67	-	1	-	1	-	-	-	30	-	4	-	-	-	1
三重県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-
京都府	-	1	-	18	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	4	1	176	-	7	-	-	-	-	-	51	-	4	-	-	-	5
兵庫県	-	7	-	33	-	2	-	-	-	-	1	11	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	4	-	11	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	1
広島県	-	4	-	22	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	36	-	2	-	2	-	-	1	42	-	3	-	-	-	8
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	8	-	1	-	1	-	-	-	17	-	3	-	-	-	3
大分県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	7	1	5	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	1	2	-	5	-	-	-	-
沖縄県	-	1	2	16	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年38週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	129	9	635
北海道	-	4	-	15
青森県	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	2
宮城県	-	1	-	8
秋田県	-	1	-	-
山形県	-	-	-	7
福島県	-	2	-	7
茨城県	-	2	-	10
栃木県	-	2	-	11
群馬県	-	1	-	9
埼玉県	-	4	-	40
千葉県	-	9	2	94
東京都	-	13	3	94
神奈川県	-	12	1	87
新潟県	-	5	-	12
富山県	-	-	-	2
石川県	-	1	-	1
福井県	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	1
長野県	-	-	-	13
岐阜県	-	2	-	7
静岡県	-	-	-	10
愛知県	-	10	-	26
三重県	-	2	-	2
滋賀県	-	2	-	6
京都府	-	1	-	9
大阪府	-	11	1	53
兵庫県	-	6	-	6
奈良県	-	2	-	3
和歌山県	-	3	-	7
鳥取県	-	-	-	2
島根県	-	1	-	-
岡山県	-	2	-	9
広島県	-	3	-	11
山口県	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	1
香川県	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	6
高知県	-	1	-	-
福岡県	-	22	1	24
佐賀県	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	2	-	2
宮崎県	-	2	-	1
鹿児島県	-	-	1	7
沖縄県	-	-	-	5

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年38週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	23275	4.95	314	0.11	2053	0.69	7522	2.53	1183	0.40	2205	0.74	195	0.07	1734	0.58	66	0.02
北海道	1871	8.21	37	0.26	259	1.81	124	0.87	71	0.50	122	0.85	2	0.01	58	0.41	2	0.01
青森県	49	0.75	4	0.10	30	0.71	52	1.24	24	0.57	98	2.33	10	0.24	10	0.24	1	0.02
岩手県	227	3.55	1	0.03	22	0.55	73	1.83	13	0.33	41	1.03	1	0.03	23	0.58	-	-
宮城県	679	7.07	2	0.03	27	0.45	146	2.43	22	0.37	31	0.52	1	0.02	46	0.77	1	0.02
秋田県	109	1.98	5	0.14	32	0.91	78	2.23	17	0.49	64	1.83	-	-	13	0.37	-	-
山形県	56	1.17	9	0.30	38	1.27	93	3.10	6	0.20	72	2.40	1	0.03	26	0.87	-	-
福島県	132	1.65	3	0.06	20	0.42	98	2.04	51	1.06	36	0.75	3	0.06	32	0.67	1	0.02
茨城県	299	2.49	10	0.13	50	0.67	99	1.32	15	0.20	65	0.87	6	0.08	22	0.29	2	0.03
栃木県	196	2.58	-	-	22	0.46	55	1.15	12	0.25	50	1.04	9	0.19	36	0.75	1	0.02
群馬県	258	2.58	4	0.06	48	0.77	192	3.10	28	0.45	29	0.47	3	0.05	26	0.42	-	-
埼玉県	1551	6.83	8	0.06	137	0.94	454	3.13	47	0.32	168	1.16	10	0.07	82	0.57	3	0.02
千葉県	1375	7.31	4	0.03	77	0.65	244	2.07	38	0.32	106	0.90	17	0.14	65	0.55	6	0.05
東京都	2817	10.24	9	0.06	91	0.64	382	2.69	53	0.37	123	0.87	21	0.15	90	0.63	5	0.04
神奈川県	2076	7.09	14	0.08	108	0.58	459	2.47	63	0.34	105	0.56	40	0.22	123	0.66	-	-
新潟県	112	1.18	11	0.19	68	1.15	75	1.27	31	0.53	72	1.22	2	0.03	28	0.47	1	0.02
富山県	27	0.56	7	0.24	38	1.31	105	3.62	20	0.69	8	0.28	-	-	15	0.52	-	-
石川県	38	0.79	7	0.24	8	0.28	96	3.31	14	0.48	14	0.48	-	-	15	0.52	-	-
福井県	68	2.13	4	0.18	26	1.18	101	4.59	10	0.45	28	1.27	-	-	15	0.68	-	-
山梨県	116	2.90	2	0.08	12	0.50	29	1.21	2	0.08	18	0.75	2	0.08	10	0.42	-	-
長野県	139	1.58	4	0.07	48	0.87	114	2.07	19	0.35	36	0.65	5	0.09	22	0.40	7	0.13
岐阜県	180	2.20	1	0.02	14	0.27	83	1.63	15	0.29	4	0.08	2	0.04	24	0.47	-	-
静岡県	148	1.15	11	0.13	43	0.52	262	3.16	19	0.23	27	0.33	2	0.02	52	0.63	2	0.02
愛知県	1121	5.81	8	0.04	72	0.40	437	2.44	65	0.36	28	0.16	5	0.03	108	0.60	1	0.01
三重県	138	1.92	1	0.02	12	0.27	180	4.00	19	0.42	6	0.13	4	0.09	29	0.64	-	-
滋賀県	249	4.79	6	0.19	6	0.19	120	3.87	14	0.45	13	0.42	-	-	12	0.39	-	-
京都府	563	4.65	2	0.03	36	0.49	206	2.82	6	0.08	17	0.23	3	0.04	27	0.37	1	0.01
大阪府	2790	9.21	10	0.05	140	0.71	559	2.85	98	0.50	55	0.28	5	0.03	99	0.51	2	0.01
兵庫県	1401	7.15	11	0.09	80	0.63	349	2.75	35	0.28	40	0.31	4	0.03	73	0.57	1	0.01
奈良県	196	3.56	2	0.06	11	0.31	52	1.49	8	0.23	19	0.54	2	0.06	10	0.29	-	-
和歌山県	188	3.84	3	0.10	4	0.13	50	1.61	14	0.45	4	0.13	3	0.10	20	0.65	1	0.03
鳥取県	28	0.97	1	0.05	41	2.16	65	3.42	4	0.21	7	0.37	4	0.21	12	0.63	1	0.05
島根県	35	0.92	2	0.09	21	0.91	73	3.17	11	0.48	29	1.26	-	-	14	0.61	-	-
岡山県	78	0.93	6	0.11	20	0.38	189	3.57	13	0.25	5	0.09	2	0.04	19	0.36	-	-
広島県	199	1.73	8	0.11	45	0.63	224	3.11	25	0.35	23	0.32	1	0.01	32	0.44	5	0.07
山口県	123	1.73	6	0.12	67	1.34	153	3.06	18	0.36	19	0.38	2	0.04	40	0.80	-	-
徳島県	27	0.73	-	-	11	0.46	32	1.33	14	0.58	22	0.92	-	-	11	0.46	1	0.04
香川県	124	2.64	5	0.18	11	0.39	68	2.43	5	0.18	16	0.57	-	-	18	0.64	-	-
愛媛県	44	0.72	1	0.03	17	0.46	121	3.27	18	0.49	18	0.49	1	0.03	34	0.92	-	-
高知県	204	4.25	-	-	13	0.43	39	1.30	17	0.57	26	0.87	1	0.03	14	0.47	1	0.03
福岡県	1385	6.99	53	0.44	68	0.57	347	2.89	76	0.63	133	1.11	1	0.01	91	0.76	9	0.08
佐賀県	62	1.59	3	0.13	13	0.57	23	1.00	5	0.22	64	2.78	10	0.43	25	1.09	-	-
長崎県	419	5.99	2	0.05	13	0.30	81	1.84	17	0.39	66	1.50	1	0.02	36	0.82	4	0.09
熊本県	166	2.08	5	0.10	26	0.54	160	3.33	16	0.33	41	0.85	2	0.04	30	0.63	1	0.02
大分県	172	2.97	1	0.03	39	1.08	204	5.67	17	0.47	22	0.61	-	-	44	1.22	3	0.08
宮崎県	115	1.95	7	0.19	23	0.64	175	4.86	25	0.69	63	1.75	4	0.11	61	1.69	-	-
鹿児島県	199	2.16	9	0.17	39	0.72	173	3.20	37	0.69	67	1.24	3	0.06	27	0.50	3	0.06
沖縄県	726	12.52	5	0.15	7	0.21	28	0.82	16	0.47	85	2.50	-	-	15	0.44	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年38週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2120	0.71	2047	0.69	22	0.03	328	0.50	7	0.02	8	0.02	157	0.35	13	0.03	483	
北海道	106	0.74	108	0.76	-	-	4	0.14	-	-	-	-	9	0.39	-	-	35	
青森県	9	0.21	14	0.33	-	-	7	0.64	-	-	-	-	7	1.17	-	-	9	
岩手県	34	0.85	9	0.23	-	-	1	0.07	-	-	-	-	10	0.53	1	0.05	11	
宮城県	17	0.28	18	0.30	-	-	3	0.25	-	-	-	-	18	1.50	-	-	11	
秋田県	32	0.91	14	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	
山形県	26	0.87	85	2.83	-	-	7	0.88	-	-	1	0.10	1	0.10	-	-	5	
福島県	31	0.65	63	1.31	-	-	5	0.42	1	0.14	-	-	6	0.86	2	0.29	13	
茨城県	15	0.20	33	0.44	1	0.06	15	0.88	-	-	-	-	2	0.15	-	-	3	
栃木県	7	0.15	15	0.31	-	-	6	0.50	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-	
群馬県	19	0.31	23	0.37	-	-	11	0.79	-	-	1	0.13	10	1.25	-	-	1	
埼玉県	43	0.30	126	0.87	-	-	22	0.54	-	-	-	-	13	1.44	-	-	6	
千葉県	78	0.66	168	1.42	2	0.07	8	0.30	-	-	2	0.22	2	0.22	2	0.22	10	
東京都	115	0.81	88	0.62	4	0.11	15	0.39	-	-	-	-	5	0.24	2	0.10	27	
神奈川県	130	0.70	95	0.51	-	-	27	0.82	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
新潟県	77	1.31	37	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.08	1	0.08	8	
富山県	43	1.48	22	0.76	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-	3	
石川県	41	1.41	25	0.86	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.40	-	-	1	
福井県	68	3.09	45	2.05	-	-	1	0.33	2	0.33	-	-	1	0.17	-	-	1	
山梨県	16	0.67	3	0.13	1	0.13	-	-	-	-	-	-	1	0.10	3	0.30	-	
長野県	127	2.31	4	0.07	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
岐阜県	5	0.10	16	0.31	-	-	1	0.09	-	-	-	-	2	0.40	-	-	3	
静岡県	112	1.35	37	0.45	-	-	6	0.30	-	-	-	-	5	0.50	-	-	1	
愛知県	88	0.49	63	0.35	-	-	6	0.19	-	-	-	-	6	0.40	-	-	16	
三重県	38	0.84	11	0.24	-	-	1	0.08	-	-	-	-	1	0.11	-	-	16	
滋賀県	15	0.48	7	0.23	1	0.13	2	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
京都府	24	0.33	23	0.32	-	-	8	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
大阪府	109	0.56	152	0.78	3	0.06	6	0.12	-	-	-	-	4	0.31	1	0.08	56	
兵庫県	96	0.76	49	0.39	-	-	16	0.47	-	-	-	-	1	0.13	-	-	11	
奈良県	11	0.31	36	1.03	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
和歌山県	43	1.39	26	0.84	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.18	-	-	-	
鳥取県	20	1.05	7	0.37	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	16	
島根県	12	0.52	2	0.09	-	-	-	-	-	-	1	0.13	2	0.25	-	-	-	
岡山県	11	0.21	21	0.40	1	0.08	7	0.58	-	-	-	-	2	0.40	-	-	4	
広島県	56	0.78	53	0.74	1	0.05	62	3.26	-	-	-	-	7	0.33	-	-	31	
山口県	50	1.00	21	0.42	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.33	1	0.11	3	
徳島県	24	1.00	16	0.67	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.20	-	-	9	
香川県	57	2.04	10	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	
愛媛県	31	0.84	13	0.35	-	-	7	0.88	-	-	-	-	5	0.83	-	-	2	
高知県	39	1.30	14	0.47	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.43	-	-	3	
福岡県	50	0.42	127	1.06	-	-	9	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	21	
佐賀県	15	0.65	57	2.48	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	12	
長崎県	9	0.20	70	1.59	4	0.50	1	0.13	-	-	1	0.08	3	0.25	-	-	14	
熊本県	39	0.81	42	0.88	-	-	14	1.56	-	-	1	0.07	3	0.20	-	-	26	
大分県	30	0.83	39	1.08	3	0.60	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
宮崎県	32	0.89	59	1.64	1	0.17	14	2.33	-	-	-	-	1	0.14	-	-	16	
鹿児島県	48	0.89	16	0.30	-	-	5	0.71	-	-	-	-	1	0.08	-	-	44	
沖縄県	22	0.65	65	1.91	-	-	15	1.50	4	0.57	1	0.14	9	1.29	-	-	1	

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年38週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2009年38週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第11巻 第38号 2009年10月6日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。